

新しい幸せを、わかすこと。



# 環境社会報告書2013

Environmental & Social Report 2013

エコ＊リラ＊キレイ



株式会社ノーリツ

## CONTENTS

トップメッセージ	03	品質への取り組み	11
【特集】CSRの取り組み	05	社会貢献活動への取り組み	13
【特集】エコ・ファーストの約束	07	営業現場での取り組み	18
【特集】太陽光を何に変えようプロジェクト	09	環境への取り組み	21
		2012年の活動概要【エコ・ファーストの約束】	23
		製品を通じた環境負荷低減	27
		環境管理システムの構築	33
		海外での取り組み	34
		ノーリツグループの概要	35

### 編集方針

ノーリツグループは、2006年を「CSR元年」と位置付け、グループ全体で活動の質を高めていくために、さまざまな施策に取り組んでいます。

今回発行した環境社会報告書2013は、この考え方をもとに、ノーリツグループにとって重要性の高い優先取り組み事例を中心に報告しています。

### 対象機関・対象範囲

**対象期間:** 2012年度(2012年1月～2012年12月)。  
ただし、これ以前の事実、これ以降の方針や目標・計画についても一部掲載しています。

**対象範囲:** 株式会社ノーリツおよび、国内・海外のグループ会社。  
環境パフォーマンスデータの集計範囲は下表の通りです。

**環境パフォーマンスデータ集計対象事業所(会社):**  
生産事業所(会社) 11 (国内9、海外2)

### Web掲載情報について



Webサイトで、詳細情報を開示しています。本文中に「Web」マークのある記載事項は、Webサイトで情報をご覧いただけます。

<http://www.noritz.co.jp/csr/>

### 前回発行月と次回発行月

前回(2012年6月発行) 次回(2014年4月発行予定)

### 環境社会報告書に関するお問い合わせ先

管理本部 環境推進室  
〒674-0093 明石市二見町南二見5  
TEL (078) 941-3205 FAX (078) 941-4542



お客さまのご意見はこちらにお願いいたします。  
E-mail: kankyou@noritz.co.jp

### 【注意事項】

本報告書は、発行時点における経営計画や見通しに基づいた将来予測が含まれています。この将来予測は記述時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでいます。

ノーリツグループは、「環境、安全、快適、健康・美容」をテーマとした豊かな暮らしづくりを通じて持続可能な社会の発展に貢献します。

## 創業の原点



ノーリツの歴史は、1951年に能率風呂工業を創設したことに始まります。創業の原点「お風呂は人を幸せにする」。このメッセージには、戦後復興期における人々の生活水準を向上させたいという情熱が凝縮されていました。

## 企業理念



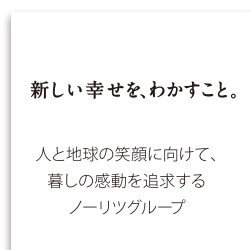
1984年には、企業理念を制定しました。株式市場に上場するタイミングであったことと、住空間に事業を拡大することを予定していた、いわば“第2の創業期”と呼べる時期にあたります。

この機会に、改めて創業の原点と、将来に向けた価値観を全員で共有化することを目的としたものです。

**お湯と健康 愛とやすらぎ 豊かな暮らしをつくる ノーリツ**

心の豊かさあふれる暮らしを提供する。この理念に込められた想いは、変わる事のない普遍的なものです。

## グループビジョン



創業60年の節目を迎えた2011年は、新たにグループビジョンとお客さまに約束するブランドメッセージを策定いたしました。

**「新しい幸せを、わかすこと。」**

私たち一人一人が、それぞれの得意な分野を活かしながら住生活を通じて、お客さまと感動を共有すること。そして、人と地球のあしたを、もっと笑顔にすること。

企業理念はそのままに、私たちは、「環境、安全、快適、健康・美容」を柱とした豊かな暮らしの創造と地球環境問題への積極的な貢献により、「お湯を超えていくノーリツグループ」として、皆さまとの「信頼の絆」をより深く育て、社会と当社グループの持続可能な発展を目指します。

## ブランドメッセージ



「エコ＊リラ＊キレイ」は、私たちノーリツグループがお客さまに約束する幸せな暮らしの三原色です

地球にやさしい暮らしをあたりまえにする… ”エコ”  
住まいをまるごと居心地よくする…………… ”リラ”  
心身ともに美しく、健やかにする…………… ”キレイ”

そのすべてを輝かせること。それが、私たちの掲げる新しい目標です。

新しい幸せを、わかすこと。  
人と地球の笑顔に向けて、  
暮しの感動を追求するノーリツグループ



代表取締役社長

国井 総一郎

## お風呂は人を幸せにする

東日本大震災から2年が過ぎましたが、現在も厳しい状況に置かれている方が多くおられます。被災地の皆さまにおかれましては、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

震災時、当社は、いち早く兵庫県と連携しながら、気仙沼市の避難所に向けて、シャワー施設12基を提供しました。シャワー施設の提供では、当社が18年前に阪神・淡路大震災を経験した兵庫県の企業として、少しでも恩返しができたこと、そして、被災地にお湯を届けることで、創業の原点「お風呂は人を幸せにする」、グループビジョン「新しい幸せを、わかすこと。」を少しでも実現できたと思っております。

また、阪神・淡路大震災の鎮魂・追悼を祈念することと、復興、再生の夢と希望を託して開催される今年で18回目になる「神戸ルミナリエ」においても、開催協賛金の提供、従業員によるルミナリエ募金、昨年は清掃ボランティアを実施いたしました。従業員からの募金の一部は、東日本大震災で愛する親を失った子どもたちへの進学を支援する「みちのく未来基金」への寄付も行いました。今後は、さらに多くの従業員ボランティアを現地に派遣していく予定にしております。

## お湯をわかす会社から、未来をわかす会社へ

ノーリツグループは、創業60周年を迎える2011年、新中期経営計画「Vプラン16」をスタートしました。「Vプラン16」は2016年までにノーリツグループが目指す“ありたい姿”を明示したもので、グループビジョンを「新しい幸せを、わかすこと。」ブランドメッセージに「エコ★リラ★キレイ」を掲げ、人と地球の笑顔に向けて、暮しの感動を追求することを宣言しました。ノーリツグループは、人と地球のあしたをもっと笑顔にするために、お湯をわかす会社から、未来をわかす会社へ進化してまいります。

## 新中期経営計画Vプラン16

2011年よりスタートした新中期経営計画「Vプラン16」では、経営基盤の一層の強化とグループ経営の質的向上を図るとともに、従業員が自信と誇りをもてるノーリツグループにすることを基本方針に掲げております。また、これを達成するための4つの実現課題「成長戦略・強いブランド・強い連携・強いチーム」を推進いたします。特に、6年後の“ありたい姿”「人と地球の笑顔に向けて、暮しの感動を追求するノーリツグループ」に到達するためには、お客さまや社会が抱える共通の課題を事業戦略に組み込み、積極的に問題を解決していくことが重要です。私たちは、「環境、安全、快適、健康・美容」といった人と地球の笑顔に密接に関係するテーマに向き合います。そして、お客さまや社会と当社グループの共通の価値を創造することで、“ありたい姿”を実現するとともに、社会の持続可能な発展に貢献します。

## グローバルコンパクトへの加盟(業界初)と新しい視点でのCSRの取り組み

ノーリツは、2012年12月1日、ガス石油機器業界で初めて、「国連グローバルコンパクト」に署名し、正式に加盟いたしました。ノーリツが今後も成長し続けるためには、自社独自の取り組みだけでなく、国際的に認知されたグローバル・スタンダードを充たしたものを取り入れ、グローバルコンパクトの10原則を遵守することが経営基盤の強化、CSR (Corporate Social Responsibility、企業の社会的責任)の強化につながると考えたためです。

一方、経営基盤強化のCSRだけでなく、「新しい幸せを、わかすこと。」を実現するため、時代とともにめまぐるしく変化する社会からの要請や期待を敏感に感じ取り、経済的価値のみならず、社会的価値に自社らしさを加えた「新しい視点でのCSR」の取り組みを加速する必要があると考えています。このような取り組みにより、さらなる社会との相乗的發展を図り、社会から選ばれ続ける企業を目指してまいります。2013年は、CSRのカテゴリー別に8つのワーキンググループを設置し、CSRマインドの醸成と浸透及び具体的な課題設定の見直しを行い、一丸となり主体的に取り組んでまいります。

## 「エコ・ファーストの約束」を更新しました

地球環境の保全と資源の持続可能な利用という、国際社会に共通の課題に対処するため、各企業において地球環境問題を重要分野と位置づけ、製品や事業活動を通じた様々な取り組みが加速されつつあります。

ノーリツグループでは、「きれいな地球を次の世代へ」をスローガンに環境管理システムを構築するとともに、環境負荷低減に向けた具体的な施策を立案し地球環境保全活動を推進しております。

環境省認定の「エコ・ファースト企業」として、「製品・事業活動を通してのCO<sub>2</sub>削減」「製品含有化学物資の管理・削減」「廃棄物排出量を半減以下」等を目指すチャレンジングな取り組みを展開してきました。2012年3月には、「エコ・ファーストの約束」を見直し、更新しました。特にお客さまにご使用していただくことで、地球に配慮した暮らしを実現する製品を提供することが、私たちの重要な使命だと考えています。具体的には、高効率給湯器の普及拡大の推進、再生可能エネルギーを使用した太陽熱温水器や太陽光発電などの新エネルギー分野の製品開発・販売の加速を通して、2016年までに製品使用時のCO<sub>2</sub>排出量を20万トン(4.2万世帯分)削減し、低炭素社会の構築に貢献してまいります。

## ノーリツを何に変えよう。

社長に就任以来、多くの部門とビジョンCafé(社長と語る会)を年間30回程度実施し、ノーリツグループの未来、「新しい幸せを、わかすこと。」について語り合ってきました。また、

今年の正月には、全従業員へ「ノーリツを何に変えよう。」というメッセージを示した年賀状を出しました。一人ひとりが徹底的に考えること、それが、すべてのはじまりだと考えています。深い想像力と、数多くのアイデアをぶつけ合うことから、人と地球のあしたをもっと笑顔にする、次のノーリツが生まれると思っております。すなわち、技術にアイデアをプラスすれば、ノーリツの未来は、何にでも変えていける可能性があると考えております。このような語り合える風土を大切に、2013年度を、次のノーリツが生まれ、新たなステージへ向かう「節目の年」と位置付け、邁進してまいります。



年賀状



創業以来、ノーリツグループは、お湯を通じて豊かな暮らしづくりに貢献してまいりました。今後も、お客さま視点での経営、人と地球に配慮した製品・サービスの提供、積極的な社会貢献活動、品質の向上に不断の努力を続けてまいります。

私たちは、「エコ\*リラ\*キレイ」というメッセージを通して、お客さまの暮らしの中にある情緒的な価値をお届けすることを約束し、お客さまをはじめ多くの方々とのコミュニケーションを深めてまいります。

### 「エコ\*リラ\*キレイ」

地球にやさしい暮らしをあたりまえにする "エコ"  
住まいをまるごと居心地よくする "リラ"  
心身ともに美しく、健やかにする "キレイ"

そのすべてを輝かせることを目標に、人と地球が笑顔になる、新しい幸せを暮らしの感動を追求することで、わかしていく。

### 「新しい幸せを、わかすこと。」

ノーリツグループ一丸となって実現してまいります。

本年で13年目になる環境社会報告書ですが、社員の手作りにより作成してきました。次回は、CSR報告書と名称を変え、内容もお客さまをはじめ多くの方々に、より分かりやすくお伝えしていきます。

是非ご一読いただき、今後の課題や期待など、忌憚のないご意見を賜りますれば幸いに存じます。

新しい幸せを、わかすこと。

ノーリツグループは、「環境、安全、快適、健康・美容」をテーマとした豊かな暮らしづくりを通じて持続可能な社会の発展に貢献します。

### 私たちのCSRの取り組み

私たちは、創業以来お湯を基軸に、心の豊かさあふれる暮らしを提供することに注力してきました。この想いは変わることはない普遍的なものです。この想いは時代の流れとともに進化します。たとえば今、地球環境に配慮しないで真の豊かさを得ることはできません。限りある化石燃料をもっと上手に使う、再生可能なエネルギーに代替するなど、経済と環境が両立するやさしいアイデアが豊かさの条件のひとつです。経済と環境そして社会を加えたトリプルボトムラインを持続的に発展させることが、豊かさにつながる時代ではないでしょうか。ノーリツグループは、人と地球のあしたをもっと笑顔にするために、お湯をわかす会社から、未来をわかす会社へ進化し、企業の社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)を全うすることにまい進していきます。

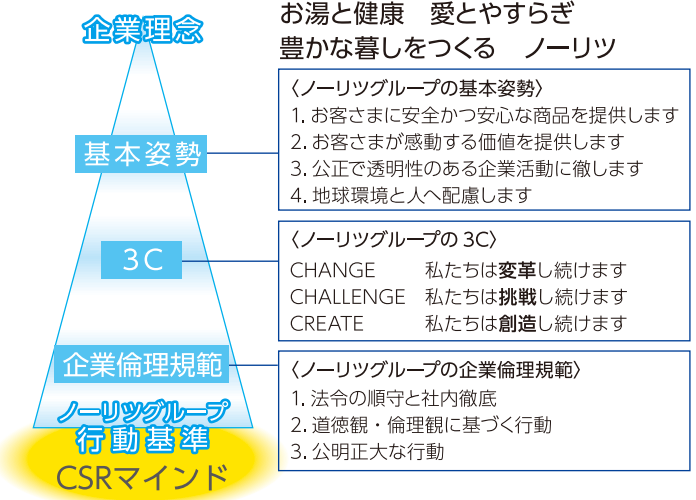
### ノーリツグループのCSR方針

ノーリツグループのCSR方針は、社会と企業が共に持続可能な成長を実現するために、企業理念や世界的な枠組みに基づいて「事業戦略に沿った経済的価値の追求」「社会の要請や期待を積極的に取り入れたCSRの実践」「ノーリツらしさ」の3つを深く融合することで、全てのステークホルダーの皆さまへ新しい幸せをわかすこととするものです。

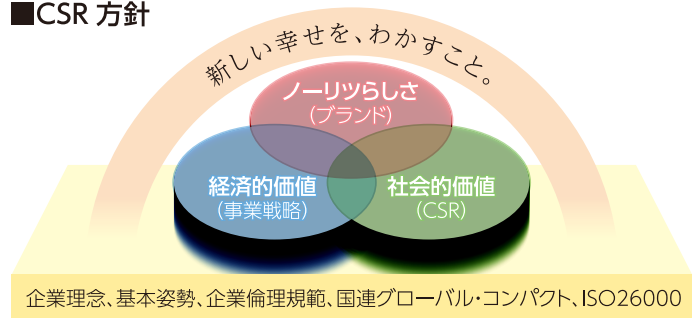
### CSRマネジメント体制

経営環境の変化に迅速に対応するために執行役員制を導入するとともに、今後、ますます高まる社会要請に能動的に働きかけるCSR推進体制を整備してきました。ノーリツでは2007年にCSR委員会を発足し、CSR経営に取り組んでいます。年2回開催しているCSR委員会では、CSR活動について審議し、CSR経営を推進するとともに、事業活動とCSR活動のより良い関係作りに取り組んでいます。

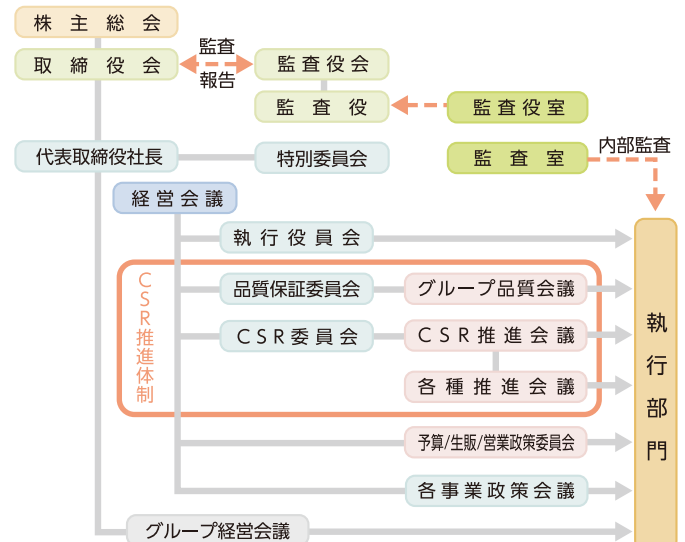
### ■ノーリツグループの企業理念体系



### ■CSR方針



### ■コーポレート・ガバナンス体制とCSRの推進体制



## グローバル・コンパクトへの加盟について

株式会社ノーリツは2012年12月、国連が提唱する「グローバル・コンパクト」の10原則に賛同し、加盟を表明しました。国連グローバル・コンパクト(GC)とは、各企業が責任ある企業市民として自主的に行動し、社会と企業が共に持続可能な成長を実現するための、世界的な枠組みづくりに参加する自発的な取り組みです。

賛同する企業は、自社の影響の及ぶ範囲で「人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、そして腐敗の防止」の4分野にわたる10原則を遵守することをトップ自らが宣言し、その実現に向けて努力し続けます。



This is our Communication on Progress in implementing the principles of the United Nations Global Compact.

We welcome feedback on its contents.

### 国連グローバル・コンパクトの10原則

人 権	原則 1	企業はその影響の及ぶ範囲内で国際的に宣言されている人権の擁護を支持し、尊重する。
	原則 2	人権侵害に加担しない。
労働基準	原則 3	組合結成の自由と団体交渉の権利を実効あるものにする。
	原則 4	あらゆる形態の強制労働を排除する。
	原則 5	児童労働を実効的に廃止する。
	原則 6	雇用と職業に関する差別を撤廃する。
環 境	原則 7	環境問題の予防的なアプローチを支持する。
	原則 8	環境に関して一層の責任を担うためのイニシアチブをとる。
	原則 9	環境にやさしい技術の開発と普及を促進する。
腐敗防止	原則 10	強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗を防止するために取り組む。

## 2012年度の主な活動

2012年度の主な活動としては、各部門からの参加者によるCSRワーキング活動に着手し、新たなCSR推進について検討を開始しました。また、7月にはCSR経営者セミナーも開催し、企業が社会と共に発展する上で、CSRの取り組みが重要であることを再認識しました。

各企業は積極的に社会の要請と期待を感じ取り、良き企業市民として自主的に取り組むことが求められています。

2013年もCSRワーキング活動を継続し、各部門の取り組みへつなげていきます。



CSR 社内セミナー

エコ\*リラ\*キレイ



## エコ・ファーストの約束 (更新書)

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

環境大臣 細野 豪志 殿

平成24年3月22日

株式会社ノーリツ

代表取締役社長  
兼 代表執行役員

国井 総一郎

株式会社ノーリツは、温水機器、浴室・厨房機器などの湯まわり生活設備機器の設計・製造・販売を行う企業として、持続可能な社会の実現のため、地球温暖化防止への取り組みを最重要課題として、以下の取り組みを進めていきます。

### 1. 製品を通じて低炭素社会の構築に積極的に取り組みます。

- (1) 高効率温水機器(潜熱回収型、等)と創エネルギー機器(太陽熱利用機器、太陽光発電システム等)の開発と普及に積極的に取り組み、2016年までに、従来型ガス石油温水機器に比べ、家庭の使用時のCO<sub>2</sub>排出量を20万t/年削減することを目指します。(2000年比)
- (2) 高効率温水機器及び、創エネルギー機器の開発推進とそれぞれの特長を活かした普及促進に積極的に取り組みます。  
※設置条件により高効率温水機器を設置できない場合は除く。
- (3) グリーンプロモーションを強化し、「CO<sub>2</sub>の見える化」など製品ライフサイクルを見すえた適切で具体的な商品・サービスの環境情報をお客さまにわかりやすく提供していく取り組みを積極的に推進します。

### 2. 事業活動を通じて低炭素社会の構築に積極的に取り組みます。

- (1) 国内事業所におけるCO<sub>2</sub>総排出量を2016年までに20%以上削減、2020年までに25%以上削減することを目指します。(2002年比)
- (2) ノーリツグループとして全体最適化を考慮したエネルギー削減を統括的に推進するために「省エネ・マネジメント体制」を強化します。
- (3) 業務改善と設備導入の両輪で計画的にCO<sub>2</sub>排出量の削減に積極的に取り組みます。

### 3. 法規制を先取りした化学物質管理を強化し、環境汚染リスクを低減します。

- (1) 自主的な取り組みとして2006年から導入している有害物質対応商品を2016年までに販売構成比80%以上になるように開発と普及に積極的に取り組みます。  
※温水機器、厨房機器、ソーラー機器、暖房機器、コージェネレーション機器が対象
- (2) 2010年7月以降の新商品(温水機器及び厨房機器)より、REACH規則で定められた化学物質の含有状況を管理し、EU向け商品だけでなく、国内向け商品に対しても情報開示ができるようにします。
- (3) 有害物質の低減及び含有情報の精度向上を図るために、化学物質管理システムの構築、化学物質監査等を通じてサプライヤーとのコミュニケーションを積極的に行い、グリーンサプライチェーンの強化に取り組みます。

### 4. 製品・事業活動を通じて資源循環型社会の構築に積極的に取り組みます。

- (1) 生産活動に伴い発生する廃棄物について、事業所外に排出する量を2016年までに60%以上削減することを目指します。(国内生産事業所2007年比)
- (2) ノーリツグループの国内生産事業所のリサイクル99%以上とする取り組みを継続し、海外生産事業所においても2012年までに99%以上とすることを目指し、その後継続します。

株式会社ノーリツは、上記取り組みの進捗状況を確認し、環境省に報告するとともに、環境社会報告書などで定期的に公表します。

新しい幸せを、わかすこと。

NORITZ



## エコ・ファースト制度

エコ・ファースト制度とは、業界トップランナー企業の環境保全をさらに促進していくため、企業が環境大臣に対し自ら環境保全に関する取り組みを約束する制度であり、2008年4月に創設されました。

ノーリツグループは、2009年3月9日にガス石油

機器業界で初めて「エコ・ファースト企業」認証を取得し、さまざまな環境への取り組みについて社会との約束を行いました。

また、2012年3月22日に目標の見直しを行い、「エコ・ファーストの約束」を更新しました。

## エコ・ファースト推進協議会

エコ・ファースト企業の認定を受けている40社が「エコ・ファーストの約束」の確実な実践と連携して先進性・独自性に富む環境保全活動を行うことを目的に2010年に設立した協議会であり、ノーリツも参加しています。



推進協議会

## 「環境メッセージEXPO」で環境大臣賞を受賞

2012年10月18日にエコ・ファースト推進協議会が主催する「環境メッセージEXPO2012」に参加し、最優秀賞にあたる「環境大臣賞」と、会場からの賛同投票で最も多かった「会場『いいね!』賞」を受賞しました。

グループビジョンである「新しい幸せを、わかすこと。」について環境面からプレゼンテーションを行いました。いずれの賞も「太陽光を何に変えよう」「給湯器リサイクルを通じての障がい者自立支援」「eco検定1000名以上合格」等のノーリツらしい環境活動について多くの方の共感を得られた点が評価されました。



環境大臣賞



会場『いいね!』賞



参加企業



授賞式



発表風景



たいようこう  
太陽光を  
なに か  
何に変えようプロジェクト  
はじまりました。

 太陽光を何に変えようプロジェクト  
<http://taiyo.ecorelakirei.com/>

ノーリツでは2011年4月から太陽光発電システムの製造販売を始めました。しかしそれより以前(1980年/32年前)から、太陽熱を利用したシステム(給湯や暖房)を製造販売してきました。太陽光と言えば発電に目が行きがちですが、私たちは「他にももっともっと可能性がある」と信じてそこにアイデアを注いでいます。

毎日どこにでも降り注ぐ太陽を、他のものに変換する。  
ワクワクする何かに。  
人の役にたつ何かに。  
新しいエコに。

ノーリツは技術にアイデアをプラスして、発電はもちろん、太陽エネルギーの可能性をもっともっと広げていきます。

## 太陽光のカラクリ箱

太陽光にできることは、きっと発電だけではありません。風が生まれて、雨が生まれて、森が生まれるように。もっと地球と未来のために、ノーリツは考えていきます。

太陽光のカラクリ箱は、全国のノーリツ事業所に設置している太陽光発電パネルが2000kWh発電するたびに、カラクリが動く仕組みになっています。



太陽光のカラクリ箱

## ノーリツ社員のワークショップ

プロジェクトの始まりとして、親子で太陽光を感じるワークショップをノーリツ社員でつくることにしました。いろんな部署のメンバーが集まって、太陽光を何に変えるか考えながら、ワークショップとして面白くなりそうなアイデアをたくさん出しあいました。



ノーリツ社員のワークショップ

## 学生たちのワークショップ

若者たちの素直な発想を取り入れるため、14大学でワークショップを開催し、264名の学生たちが参加してくれました。太陽光を何に変えるか考え、「太陽光を何に変えようシート」にアイデアの芽を記入し、色んなアイデアが数多く生まれました。



学生たちのワークショップ

## 子どもたちのワークショップ

ノーリツの社員たちでつくる親子向けワークショップを横浜と名古屋で開催しました。たくさんの親子が参加してくださいました。

ワークショップのタイトルは、「太陽を感じて、遊んで、考えて。親子でオリジナル絵本をつくろう」というもの。太陽光のエネルギーがどんなものになるのか、いっぱい想像してお絵かきをしながら、世界で1つだけの自分だけの絵本が出来るワークショップです。

まず、「おひさまクイズ」で太陽の大きさや地球との距離を実感してもらうことからスタート。続いて太陽が放つ光や熱を利用してノーリツが発明した商品(ダブルソーラー)の紹介を行いました。

そして、いよいよ絵本作成。子どもたちは研究所の助手として白衣を着て、太陽のことをいっぱい考えて「太陽の

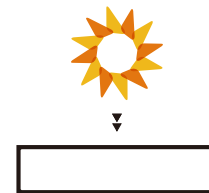
発明家」という絵本を完成させました。子どもたちのアイデアは、どれも大人たちをびっくりさせるものばかり。大人たちも、未来にワクワクする、そんなワークショップとなりました。2013年も継続して行います。



子どもたちのワークショップ

## 太陽光を何に変えようコンテスト

太陽光を、人のしあわせにつなげるアイデア。太陽光は、熱・電気・お金だけでなく、色々なものに変えることができるはず。変えた何かで、誰かを幸せにできるアイデアを募集しました。



## ノーリツのアイデア

お湯と電気を一緒につくれば、もっと節約できるのではないか。そんな思いから、ノーリツのダブルソーラーが生まれました。

太陽熱でお湯を、太陽光で電気を。太陽のチカラを両方使って、とってもお得になります。

昼間は太陽光で電気をつくって、余った分は売電することができます。夜間は、昼間に太陽熱で沸かしたお湯を使って、給湯だけでなく温水暖房にも活用することができます。太陽の2つのチカラを利用した、一日中、省エネのシステムです。



ダブルソーラー



## 太陽光を「ルミナリエの灯り」に変えよう。

ノーリツの工場や事業所などに設置された太陽光パネルで発電した電力を金額換算し、その一部を神戸ルミナリエに寄付しました。

また、2013年夏に大規模太陽光発電(メガソーラー)事業を開始します。太陽光を、人の笑顔や地球のエコのために。再生エネルギーの可能性を信じて、新しい取り組みを次々と行っていく予定です。



当社社長 國井 総一郎

## 豊かな暮らしを支える製品とサービスを提供する

「製品やサービスを通じて豊かな暮らしを提供する」ことが、ノーリツグループにとっての最大の使命です。これを実現するためには、製品だけでなく、全ての企業活動でお客さま満足を最優先とした仕事をする事が重要です。私たちは、「製品やサービスの品質を高める」「お客さまの声を事業活動に活かす」この2つのことを大切にしながら製品の開発から修理に至るプロセスで品質の向上を目指し、製品とサービスの可能性に挑戦しています。

### 私たちが追求する品質

ものづくりと販売・サービスの現場で6つの価値を追求することで品質の向上を目指し、お客さまとの信頼の絆を深めていきます。

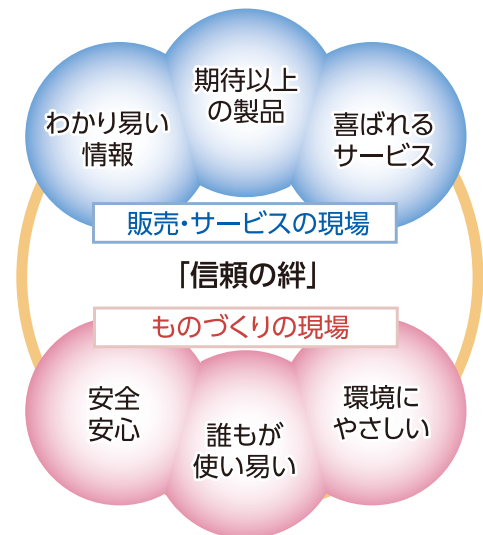
#### ● 販売・サービスの現場

製品の特徴や、安全にご使用していただくための情報などを、わかり易くお伝えすることを出発点として、お客さまの声に耳を傾け、対話を通して期待以上の製品や喜ばれるサービスを追求していきます。

#### ● ものづくりの現場

開発・調達・生産の各段階で品質を確保した製品をお客さまにお届けする。これが私たちの使命です。私たちが考える品質は、「安全であること」、「誰もが使い易いこと」、「環境にやさしいこと」この3つが必要条件です。

### 6つの価値



### お客さま満足を最優先とした品質マネジメント体制

グループ会社全体の品質保証業務を統括管理することで、今まで以上に、お客さま満足と品質の向上を達成できると考え、品質保証推進本部長が議長を務める「グループ品質会議」を毎月開催しています。執行部門における業務改善を推進するとともに、お客さま接点窓口の専門性を高め、6つの価値を着実に実現していきます。



## 設計品質向上への取り組み

### 3Dデータ活用による設計の見える化

3D CADの活用により開発の初期段階の試作作成前に問題点の洗い出しを行い、早期対策を実施しています。

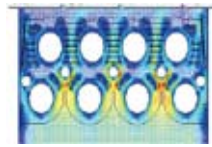
『デジタル・モックアップ デザインレビュー』を開催して試作前工程での知識集約を行っています。



デジタル・モックアップ デザインレビュー

### 数値解析の活用による信頼性の向上

数値解析の活用により温度上昇や応力の計算を行い、十分な耐久性を確保した設計を行っています。また、潜熱回収用の2次熱交換器は、排気の流れと水管配列を数値解析により最適化することで、高い熱効率を達成しています。



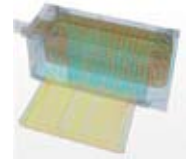
●1次熱交換器  
フィン流体解析



●1次熱交換器  
パイプ応力解析



●2次熱交換器  
流体解析



●2次熱交換器  
流体解析



●潜熱回収  
(凝縮水の生成状況)

数値解析を活用して設計を行った熱交換器も、実機に組み込み各種の耐久試験モード条件で確認試験を実施しています。

## 生産品質向上への取り組み

不良流出ゼロを目指した

- ・生産検査工程改善への取り組み
- ・科学的信頼性分析手法の活用

2011年度より信頼性分析手法の一つである「工程FMEA」を実践し、工程改善を進めています。また、部品不良原因の撲滅のため、真因追求に効果的な「なぜなぜ分析」手法の普及に取り組んでいます。このような科学的手法を活用して、潜在する不良発生リスクを無くし、更なる製品品質の向上に取り組んでいます。この活動を継続的に行うことと、拡大していくためさまざまな活動を行っています。

### ①ノーリツ品質大会の開催

2012年9月にノーリツNAM事業所で「ノーリツ品質大会」を開催しました。品質大会はノーリツ従業員、および部品メーカーの品質に対する



意識を高揚し、製品品質の向上・お客さま満足の上を目指すことを目的に開催しました。日常業務の中で品質向上に高く貢献した改善事例に対して品質表彰を行い、事例発表会を行いました。また、部品メーカーの品質向上活動の推進のため、「なぜなぜ分析」・「失敗事例共有」の研修を開催しました。

### ②2012年度新製品に対する工程FMEAの活用

2011年度から実践している信頼性分析手法の一つである「工程FMEA」を2012年の新製品であるGT-C2452シリーズに展開しました。

主要な新規部品に対して「工程FMEA」を行い、潜在する不良リスクを無くし、製品品質の安定化を図りました。

# 社会貢献活動への取り組み

ノーリツグループは、福祉・次世代育成、環境配慮、地域社会との共生を中心に、従業員と共に社会貢献活動に取り組んでいます。



## 地域社会との共生(神戸ルミナリエ)

神戸ルミナリエは、阪神淡路大震災の犠牲者の鎮魂・追悼を祈念することと、被災した都市の復興・再生の夢と希望を託し、震災の年に開始され、昨年18回目を迎えました。当時被災し救援・支援を受けた神戸の一企業として、当社は毎年開催協賛金の提供をさせていただいています。

今回は、従業員によるルミナリエ募金に加え、清掃ボランティアの希望者を募り実施しました。

ノーリツグループはこれからも神戸ルミナリエを支援していきます。



神戸ルミナリエ



ボランティア参加者



貴社の神戸ルミナリエ開催へのご協力に深く感謝いたします。今後も神戸ルミナリエに温かいご支援をお願い申し上げます。

神戸ルミナリエ組織委員会  
事務局長 **菱野 敦雄** 様



## 地域社会との共生(東日本大震災支援)

阪神淡路大震災を経験した一企業として、ノーリツグループでは昨年に続き従業員から寄付を募り「みちのく未来基金」に寄付させて頂きました。

「みちのく未来基金」は、企業や有志が協力し、東日本大震災でかけがえのない親を失った子どもたちの大学及び専門教育への進学を支援しています。

微力ではありますが次世代を担う大切な子どもたちの育成を支援していきたいと考えています。



東日本大震災の遺児へのご支援に感謝いたします。子ども達が夢を諦めないことが復興につながることを信じています。

みちのく未来基金  
業務執行理事 **河崎 保徳** 様



## 地域社会との共生(ノーリツ・グリーンウォーク)

ノーリツグループは毎年11月、ボランティア活動の一環として明石本社工場エリアでグリーンウォークを実施しています。これまでは工場周りの清掃が中心でしたが、4回目を迎える今回は、地域社会への貢献に重点を置き、近隣公園内の清掃やベンチのペンキ塗りなど美化活動をおこないました。

当日は明石本社工場のみでの活動でしたが、中四国支店や神奈川支店でも活動の輪が広がっています。今後もこの様な活動の輪が広がるよう継続して取り組んでいきます。



参加者のみなさん



## 環境配慮活動(里山活動)

環境配慮活動の一環として2012年6月に兵庫県宍粟市において里山体験活動を行いました。兵庫県、宍粟市、与位の各森林組合のご協力を頂き、従業員やその家族72名が参加し、ひのきの間伐やチェーンソー体験、植樹などを行いました。

木が倒れる迫りや里山を手入れする充実感を味わいながら、山林の重要性や林業の現状などを学びました。



間伐材の伐採体験



## 海外での地域社会との共生(ハリケーン復興支援)

2012年10月に発生したハリケーン「Sandy」の復興支援として、「ノーリツアメリカ」「ノーリツアメリカ従業員」「ノーリツ国際事業本部」では寄付を募り、American Red Cross(米国赤十字)を通じ\$2,165の寄付をおこないました。

American Red Crossに集められた寄付金は、緊急支援と長期復興に役立てられています。

ノーリツアメリカでは、一日も早い復興を願い、被災者の住宅再建支援にも協力しています。



ハリケーンの被害状況



## グループ企業の地域社会との共生(関東産業(株)餅つき大会)

グループ会社の関東産業(株)では、毎年1月に芳賀東部工業団地の企業と協力して地域とのコミュニケーションを大切にした「餅つき大会」を実施しています。今年は近隣住民、地元の少年サッカーチームや野球チームのメンバーとその保護者など約230名を招き、子どもたちの餅つき体験をおこないました。

従業員とその家族もボランティアとして参加し、地域の食材や道具を提供しました。参加者はつくたての餅、豚汁などをほおばり、楽しく過ごしていただきました。これからも地域に根ざした社会を目指し地域貢献に取り組んでいきます。



子ども餅つき体験



## 地域社会との共生(地元へのご協力)

ノーリツは地域社会との共生を目指して、神戸市にて開催される文化・スポーツの催し(例:神戸まつり、こうべ海の盆踊り、みなとこうべ海上花火大会、みなとまつり、インフィオラータこうべ、元町イースト・ジャズピクニック、C・A・P、スポンサー花壇、南京町春節祭など)に積極的に協賛しています。

また、神戸マラソンにはノーリツ女子陸上部の選手も参加し、イベントの活性化につなげていきたいと考えています。



こうべ海の盆踊り



神戸マラソン



## 次世代育成活動(トライやるウィーク他)

生産工場ではお父さんやお母さんが元気に働く姿を見てもらう家族見学DAYを実施し、家族のコミュニケーションを大切にしたり、ビジネスパートナー様の工場見学を通して、給湯器の安全性をお伝えしています。

また、毎年近隣の中学生を対象にした『トライやるウィーク』にも協力し、職場体験を通じて働くことの大切さや楽しさを実感してもらい、社会の一員としての育成を支援しています。



給湯器組み立て体験



参加者のみなさん

## 社会との共生を目指して 3つの笑顔プロジェクト

「人と地球と暮しの笑顔」をテーマに、  
3つの笑顔プロジェクトをスタートしました。  
ノーリツグループは「あしたをもっと、エコ★リラ★キレイに。」を合言葉に、  
事業活動を通じて社会と共有できる価値を生み出す、  
社会貢献活動に取り組んでいます。



## 3つの笑顔 プロジェクト

### ■2012年トピックス

プロジェクト名	トピックス	成果
<p><b>人に笑顔</b> 障がい者自立支援 プロジェクト</p>	<p>■<b>福祉施設様との連携</b> 2012年は、新たに宮城県の社会福祉法人永楽会「夢の風とみや」様と連携する等、トータル7施設様とタイアップして障がい者の就労機会を創出しています。</p> <p>■<b>販売事業者様との連携</b> 関西エリアを中心に給湯器回収をすすめていましたが、2012年は関東エリアの販売事業者様と連携。給湯器の回収量を拡大しています。</p>	<p>約2,000万円の 就労機会を創出</p>
<p><b>地球の笑顔</b> 森林育成 プロジェクト</p>	<p>■<b>兵庫県朝来市様との連携</b> 昨年に引き続き、「森林カーボンオフセットサービス」を利用して、兵庫県朝来市の間伐などの森林整備事業を支援しています。</p> <p>■<b>ノーリツ加古川事業所で2年連続CO<sub>2</sub>ゼロ化</b> 太陽光発電システムを生産しているノーリツ加古川事業所は、森林カーボンオフセットサービスを利用し、2年連続でCO<sub>2</sub>ゼロ化を達成しています。</p>	<p>700 t-CO<sub>2</sub> の 排出権を購入 し森林整備に 資金を還流</p>
<p><b>暮しで笑顔</b> 浴育・食育 プロジェクト</p>	<p>■<b>「おふろって楽しいでSHOW！」の開催</b> ノーリツオリジナル浴育イベント「おふろって楽しいでSHOW!」を全国7都市7会場で開催。2012年は、浴育イベントの開催場所を、従来の幼稚園や保育園に加え銭湯へ拡大。 より臨場感のある体験型イベントで、子どもたちにおふろの楽しさやマナーの大切さを伝えました。</p>	<p>7都市7会場で おふろの楽しさ 大切さを考える 機会を創出</p>



## ★ 人に笑顔 障がい者自立支援プロジェクト

福祉施設様とタイアップ。給湯器リサイクルを通じて、障がい者がイキイキと働ける機会をつくっています。

わが国の障がい者数は720万人を超え、働きたくても働けない人が年々増加傾向にあると言われています。ノーリツグループは「福祉から雇用へ」をキーワードに、役目を終えた給湯器をリサイクルすることで、障がい者がイキイキと働ける機会づくりを進めています。

### ■ 2012年活動報告

人に笑顔プロジェクトを、本格的に開始して2年が経過します。当プロジェクトが目指していることは、障がいの有無に関わらず、みんなが共に明るく笑顔で働ける機会をつくっていくことです。

この目的を実現するために、2012年は「福祉施設様の拡大」、「給湯器回収量の拡大」という2つのテーマに取り組みました。

### ■ 福祉施設様の拡大

当初、兵庫県を中心とした関西エリアの福祉施設様とタイアップして当プロジェクトを推進してきましたが、昨年は、新たに広島県、宮城県の福祉施設様と業務提携。トータルで4府県7施設様へ拡大し、就労機会の創出に取り組みました。

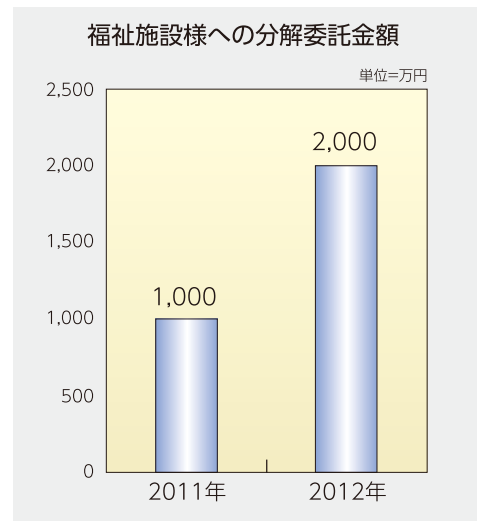
2012年の給湯器分解委託金額は2,000万円となり、前年と比較して2倍化を達成しています。

### ■ 給湯器回収量の拡大

福祉施設様の拡大と同期し、給湯器の回収量の拡大に取り組みました。昨年は関西エリアだけでなく、関東エリアの販売事業者様とも連携。トータル135社160拠点の販売事業者様にご協力をいただき、約10,000台の給湯器を回収することができました。



7番目のタイアップ先  
「夢の風とみや」様(宮城県)

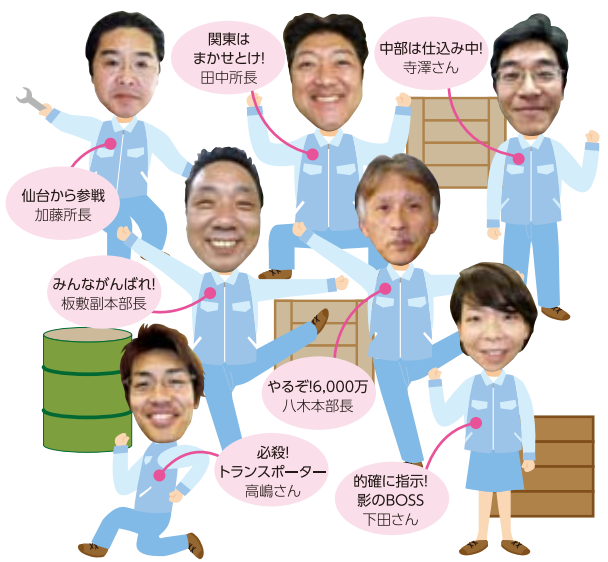


業務提携している福祉施設様			開始	
①	社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団	小野福祉工場	兵庫県 小野市	2010年12月
②	社会福祉法人	加古川はぐるま福祉会	兵庫県 加古川市	2011年 4月
③	社会福祉法人	いずみ野福祉会	大阪府 岸和田市	2011年 4月
④	NPO 法人	たつのGHO	兵庫県 たつの市	2011年 4月
⑤	NPO 法人	P & C人財センター	兵庫県 加古郡	2012年 4月
⑥	福祉作業所	ハナミズキ	広島県 安芸郡	2012年 3月
⑦	社会福祉法人永楽会	夢の風とみや	宮城県 仙台市	2012年11月

**思い** (株)エスコアハーツ 事業統括本部長 常務取締役 **八木 定**

**社会と企業の潤滑油として、就労機会の創出に挑戦!**

私たち資源再生部の役割は、販売事業者様と、福祉施設様をつなぐことにより、今までなかった仕事を新しく生み出す潤滑油になることです。現在、7名のメンバーが、それぞれの個性を活かして仕事を進めています。2013年は6,000万円の就労機会を創出することに挑戦します。



(株)エスコアハーツ資源再生部のメンバー

## ★ 地球の笑顔（森林育成プロジェクト）

森林カーボンオフセットサービスを利用して  
森林整備を支援しています。

ノーリツグループは、(株)日本オフセットデザイン創研が兵庫県森林組合連合会とともに提供している「森林カーボンオフセットサービス」を利用して、兵庫県朝来市の間伐などの森林整備事業を支援しています。

### ■ 地球の笑顔プロジェクト第1弾報告(2010年～2012年)

お客さまの消費が森林育成に活かされる地球の笑顔プロジェクト第1弾。エコジョーズなどの環境配慮商品一台につき20円を森林整備に役立てる取り組みです。

3年間の対象商品販売台数は89万台、総額1,780万円を支出し、森林カーボンオフセットサービスを利用した間伐事業支援や間伐材の利用促進を図るために、ノベルティの制作等に取り組みました。

### ■ ノーリツ加古川事業所は2年連続でCO<sub>2</sub>ゼロを達成

太陽光発電システムを生産しているノーリツ加古川事業所は、企業努力で削減しきれなかったCO<sub>2</sub>排出量632t-CO<sub>2</sub>(2012年1月～12月)をカーボンオフセットし、2年連続でCO<sub>2</sub>排出量ゼロ化を実現しています。

### ■ 朝来市との座談会の実施

2012年5月、J-VER座談会を朝来市役所で開催。森林整備に向けた市の取り組みや、地球の笑顔プロジェクトの進捗状況など、お互いの活動に関する意見交換を実施。

また、座談会終了後には相互の取り組みを記念して朝来市の森林に設置した看板の除幕式を行いました。



J-VER 座談会でお互いの取り組みを確認する  
多次市長(正面左)と國井社長(正面右)



朝来市の森林に設置された記念看板

## ★ 暮しで笑顔（浴育・食育プロジェクト）

暮らしの中の「小さな幸せ」を、わかすために..

「浴育」「食育」を通じて、その楽しさ大切さを伝えています。

暮らしの中にある「小さな幸せ」。毎日の習慣である入浴や食事もそのひとつです。そして、これらをもっと輝かせるのは、親子のコミュニケーションではないでしょうか。ノーリツグループは、「浴育」や「食育」を通じて、日本のおふろや食文化を楽しく子どもたちに伝える活動を進めています。

2012年「浴育」イベント開催実績		開催月
①	錦湯（京都市）	4月
②	聖クララ幼稚園（福岡市）	5月
③	満天の湯（横浜市）	7月
④	ふる屋（岡崎市）	9月
⑤	梅の湯（荒川区）	10月
⑥	白雲谷温泉ゆびか（小野市）	10月
⑦	薬師湯（墨田区）	10月



紙芝居「パンダの不思議なおふろ」  
横浜市「満天の湯」にて



唄って踊ろう！おふるマンボ  
京都市「錦湯」にて



おふる銭湯マナークイズ  
福岡市「聖クララ幼稚園」にて



詳しくは、「浴育・食育」スペシャルサイトをご覧ください。

[http://www.noritz.co.jp/csr/social/yoku\\_shokuiku.html](http://www.noritz.co.jp/csr/social/yoku_shokuiku.html) ※「浴育」は東京ガス機の登録商標です。

## 営業本部の取り組み 全国各地で行われたエコライフフェア

### 東京NOVANOで「エコライフフェア」を開催

12月に、ノーリツ東京支店は、東京NOVANOで食育をメインテーマにした「エコライフフェア」を開催しました。

当日は、有名なレストランオーナーシェフ榎谷周一郎氏を招いて「食育講座」、「調理実習」のイベントを行いました。

実演では、コンロの便利な機能をわかりやすく説明し、会場が大いに盛り上がりました。

また、タブレット端末を使って、お客さまへのわかりやすい説明にも取り組みました。



コンロを使っただの実演風景

榎谷 周一郎氏

東京 NOVANO  
マネージャー

吉本 博真



ショールームを活用し、食育をメインテーマに有名シェフを招き、食育・コンロのプレゼンテーションを行いました。有名シェフが多彩に調理する実演により、お客さまにコンロの便利な機能を実感していただきました。また厨房分野だけではなく、ダブルソーラーなどの新エネルギー商品の提案も行ったことで、ビジネスパートナー様にはショールーム活用のメリットを感じていただけました。



タブレット端末による説明

### 神戸ショールームで大阪ガス様と「くらしのエコライフフェア」を開催

ノーリツ神戸支店は9月、神戸ショールームで大阪ガス兵庫リビング営業部様と「くらしのエコライフフェア」を開催しました。

神戸ショールームを活用した大阪ガス様とのイベントは今回が初めてで、大阪ガスサービスショップ様7店に参加していただき、多くのお客さまに会場が盛り上がりました。

イベント当日は、「太陽光発電のエコでお得なお話し」「食育ミニ講座」を開催し会場内が盛り上がりました。



「太陽光発電のエコでお得なお話し」「食育ミニ講座」を開催

## 営業本部の取り組み

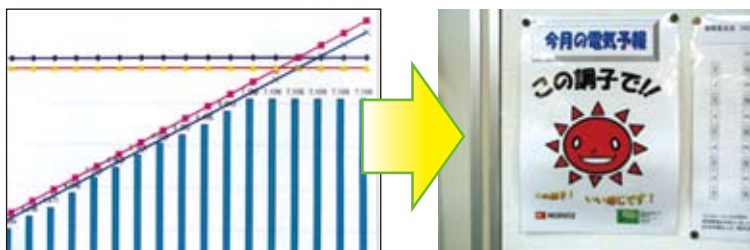
### ■ 節電の取り組み

東関東支店では、総務課 鈴木幸子を中心になってさまざまな工夫を凝らし、全員の節電意識を高めたことで、電気使用量を30%削減しました。(2010年度比)

12月19日には、BSジャパン「省エネの達人」(提供:日本テクノ株式会社)で、その取り組みが紹介され、番組より「達人」の認定を受けました。



細かくて見づらい電気使用量のグラフも手作りオリジナル電気予報で見やすくすることにより、社員全員が意識するようになりました。



見づらい電気使用量グラフ

一目でわかるように表示

### 担当者の声

東関東支店 総務課 鈴木 幸子



日々の節電目標に対する進捗を、曇・雷・晴のイラストで、ひと目で分かる電気予報を出入り口に貼り出した。節電は一人一人の意識が大切、全員で消費電力の状況を共有し節電意識を高め、地道な活動を実行できたことが大きな成果につながりました。

### 責任者の声

東関東支店 支店長 菅野 浩之



地域密着の営業活動を行う中で我々が率先して節電に取り組む事で周りへの影響力も持ってもらえるのではないかと思います進めてきました。

### ■ 東関東支店のさまざまな取り組み



LED 電灯に変更



便所の節電チェック



トイレにも節電ポスター



電気料金表示で意識付け

## 人材の育成

### ■ ecoな人材を育てる「eco検定」

お客さまへの提案力向上と環境配慮設計への意識付け、生産・物流においても環境を意識したものづくりを徹底するためには、従業員一人ひとりのさらなる環境への意識と知識の向上が必要と考え、社員全員が「eco検定」\*合格を目指しています。

2012年12月の第13回検定試験までで約1,300名の社員が合格しています。

\*東京商工会議所が実施している環境問題に取り組む人づくりと、“持続可能な社会作り”を目的とした環境社会検定試験



eco検定勉強会



### ■ 内部監査

内部監査は、ISO14001の要求事項として実施するだけでなく、環境管理システムの「改善の機会」として実施をしています。

内部監査員は、監査の活動を通して改善の着眼点を学んだりチームで行動することによってコミュニケーション能力を磨き、実践を重ねることで能力を向上させています。

### ■ 能力開発プログラム

お客さま視点でニーズ(困りごと)を顕在化し、適切な商品(モノ)・サービス(コト)で応えることができるよう商品知識・基礎(環境・IT・法務・財務)知識のレベルアップ教育をおこない業務遂行スキルを高めていく能力開発プログラムを実施しています。

#### 内部監査員の声

東北支店 総務課 石川 泉



内部監査員になり、初めてのことばかりでかなり戸惑いもありました。

司会進行をする機会があまりないので最初は緊張で震えましたが、進行の過程などとても勉強になりました。そして、他の支店や営業所の様子を見れたことは、何よりも貴重な経験でした。業務改善では、参考にしたい工夫や発見がたくさんあり、とても参考になりました。

ISOを通してできたつながりを大切にしていきたいと思っています。

## お客さまの声を大切にした営業活動

### ■ 所沢営業所『太陽まるごとエコ生活提案会』

ノーリツグループでは、ただ、商品を販売するだけでなく、お客さまとの対話を大切に、ご納得いただけるまであらゆる努力を惜しみません。

商品機能だけでなく、“こんな使い方をしたらエコですよ”と提案したり、逆にお客さまが困っていることや要望などをお聞きして、お客さまの使い方まで考えて提案しています。

「太陽まるごとエコ生活提案会」では、お客さまから数多くのご意見をいただきました。この貴重なご意見を商品開発に反映し、お客さま満足の向上につなげていきます。



エコ生活提案会の様子

## 環境理念と環境基本方針

私たちは「きれいな地球を次の世代へ」をスローガンに、環境管理システムを構築し、環境負荷低減をはじめとした具体的な計画をもとに、ノーリツグループ全体で地球環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

<b>環境理念</b> <small>改訂:2007年1月 制定:2000年1月</small>	私たちは、良き企業市民として循環型社会の実現を目指し、あらゆる企業活動において地球環境保全に積極的に取り組みます。
<b>スローガン</b>	～きれいな地球を次の世代へ～
<b>環境基本方針</b> <small>改訂:2010年4月 制定:2000年1月</small>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① <b>環境管理システムの構築</b>                      環境管理システムを構築し、継続的改善を図ることで社会責任を果たします。</li> <li>② <b>製品及び事業活動において環境負荷低減</b>                      製品及び事業活動において、環境へ配慮し、地球温暖化の防止、省資源、有害物質・廃棄物削減・生物多様性の保全など、環境負荷の低減を行い、循環型社会の実現に貢献します。</li> <li>③ <b>環境リスクの低減</b>                      環境関連法規類の順守はもとより、企業として社会的責任を自覚した自主基準を設け、環境リスクの低減、汚染の予防に努めます。</li> <li>④ <b>環境コミュニケーションを通じた環境保全活動の推進</b>                      環境教育を通じて一人ひとりの環境意識の向上を図り、地球環境問題の深刻化を認識するとともに良き企業市民として社会・地球における環境保全活動を実施していきます。</li> </ol>

## ノーリツグループの年間CO<sub>2</sub>排出量は日本のCO<sub>2</sub>総排出量の約1%にあたります

ノーリツグループは、約3.7万tの資源と各種エネルギーを投入し、ライフサイクルを通して約1,260万tのCO<sub>2</sub>を排出しています。これは日本全体のCO<sub>2</sub>排出量約13.07億t\*に対して約1%を占めていることとなります。

### 特にプロセス毎のCO<sub>2</sub>排出量では

製品使用段階がノーリツ全体の **99%** を占めています。

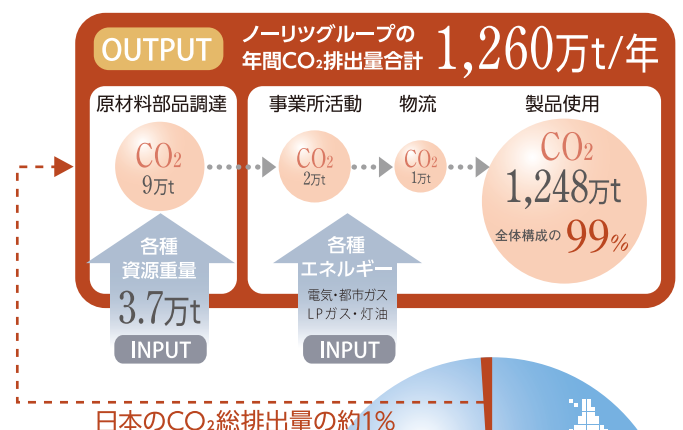
<使用時のCO<sub>2</sub>排出量の算出について>  
 基準年(2000年)の年間CO<sub>2</sub>排出量を、ガス機器(1.0t)・石油機器(1.3t)として、品群毎にCO<sub>2</sub>削減率を乗じ、使用期間10年で算出。

### 低炭素社会の構築に貢献します

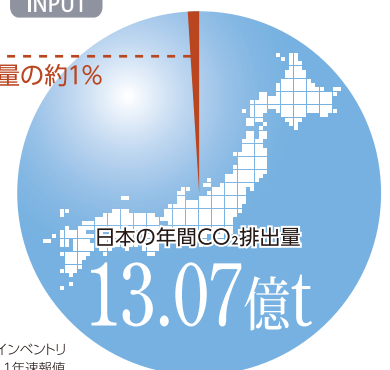
CO<sub>2</sub>排出量の削減を行い、低炭素社会の構築に貢献することが私たちの大きなテーマです。

そこで、私たちは、環境戦略(エコ・ファーストの約束)を策定し、積極的に取り組んでいます。

■CO<sub>2</sub>排出量想定(当社試算)



日本のCO<sub>2</sub>総排出量の約1%

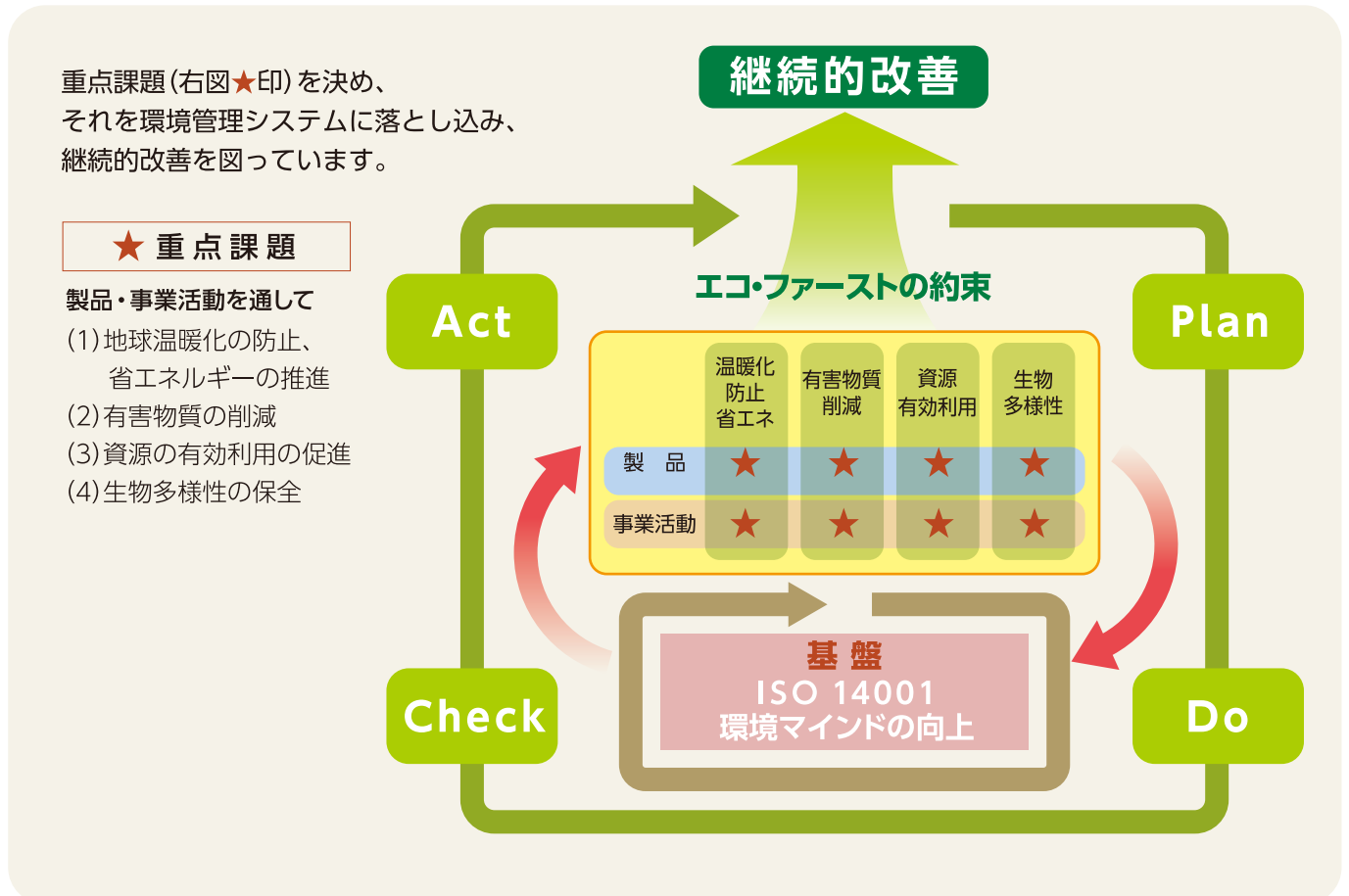


\*出典:国立環境研究所 温室効果ガスインベントリ 日本の温室効果ガス排出量データ2011年速報値

## 重点課題

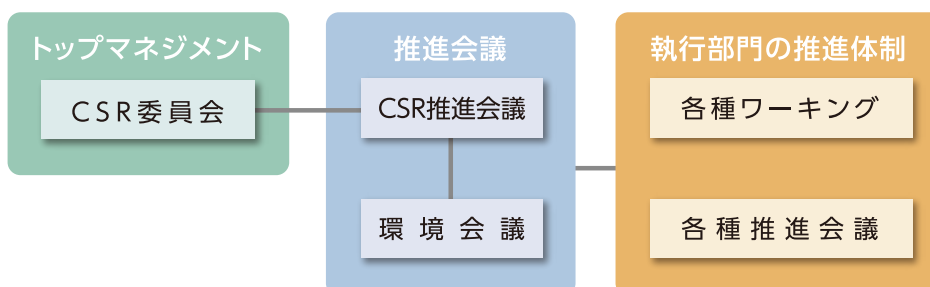
### ■「エコ・ファーストの約束」を策定

ノーリツグループは、「企業の成長」と「環境推進」の両立を目指した「エコ・ファーストの約束」を策定しています。



## 環境経営推進体制

ノーリツグループにおける環境保全活動の重要実施計画は、社長が主催する「CSR委員会」で審議・決定されます。ここで決定された「エコ・ファーストの約束」は、各執行部門の課題に落とし込まれ、活動の結果がフィードバックされる仕組みになっています。また、執行部門をまたがる個々の重要な課題に対しては、環境推進室が中心となって、グループ会社も入り、環境会議やワーキンググループを設けてPDCAサイクルを回しています。



環境会議

# 2012年の活動概要【エコ・ファーストの約束】



## 1. 製品を通じて低炭素社会の構築に積極的に取り組みます。



(1) 高効率温水機器（潜熱回収型、等）と創エネルギー機器（太陽熱利用機器、太陽光発電システム等）の開発と普及に積極的に取り組み、2016年までに、従来型ガス石油温水機器に比べ、家庭の使用時のCO<sub>2</sub>排出量を20万t/年削減することを目指します。（2000年比）

2012年のCO<sub>2</sub>削減貢献量は、2000年比で9.92万t/年になりました。これは家庭からの総CO<sub>2</sub>排出量<sup>(※)</sup>の約2.1万世帯分に相当します。

2016年目標である削減貢献量20万t/年は、約4.2万世帯分に相当します。

※温室効果ガスインベントリオフィス（2010年値）より、4,758t-CO<sub>2</sub>/年/世帯（自家用車含む）



(2) 高効率温水機器及び、創エネルギー機器の開発推進とそれぞれの特長を活かした普及促進に積極的に取り組みます。

高効率温水機器（潜熱回収型、等）と創エネルギー機器（太陽熱利用機器、太陽光発電システム等）の開発と普及拡大により、製品使用時のCO<sub>2</sub>を削減しています。

● 高効率  
ガスふろ給湯器



GT-C(V)\*\*52シリーズ

● 太陽熱利用  
ガス給湯暖房システム

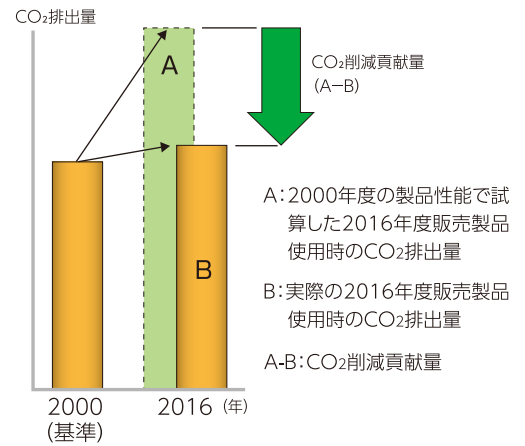


XFシリーズ

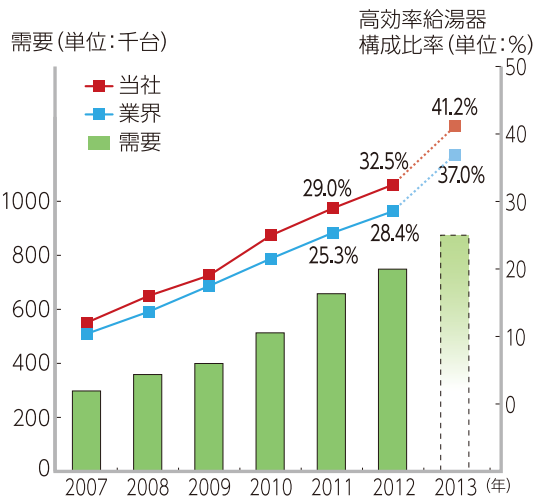
● ダブルソーラーシステム  
太陽光発電システム+太陽熱温水器



### ■ 製品によるCO<sub>2</sub>削減貢献量



### ■ 高効率給湯器の販売構成比率・需要



### ● 新エネルギー分野（太陽光、太陽熱関連）を加速

2011年に新設した「環境機器開発センター」（新エネルギー分野の研究開発棟）と「新エネルギー商品研修センター」（施工に必要な実技・知識を習得するための研修施設）を最大限に使用し、製品を通じての低炭素社会に向けての貢献を更に加速していきます。



環境機器開発センター



新エネルギー商品施工研修センター  
（施設内部に模擬屋根を設置）



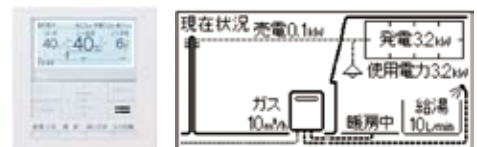
ショールームイベント（例）  
「太陽まるとエコ生活提案会」



(3) グリーンプロモーションを強化し、「CO<sub>2</sub>の見える化」など製品ライフサイクルを見すえた適切で具体的な商品・サービスの環境情報をお客さまにわかりやすく提供していく取り組みを積極的に推進します。

お客さまが省エネに配慮した使い方をされて、その効果を確認していただけるように、各種ナビゲーション機能や省エネ運転モードを搭載していきます。

### ● 高機能リモコン



リモコン表示例

太陽光発電システムとの併用で光熱費の「見える化」を実現





## 2. 事業活動を通じて低炭素社会の構築に積極的に取り組みます。



- (1) 国内事業所におけるCO<sub>2</sub>排出量を2016年までに20%以上削減、2020年までに25%以上削減することを目指します。  
(2002年比)

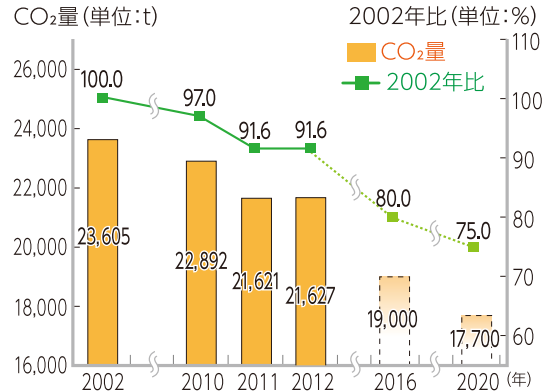
2012年度の生産事業所におけるCO<sub>2</sub>排出量は、21,627t(2002年比91.6%)となりました。

今後も目標達成に向けて、生産設備の省エネ化、照明のLED化、太陽光発電システムの導入、エネルギーの見える化を重点に、CO<sub>2</sub>削減活動を推進していきます。



- (2) ノーリツグループとして全体最適化を考慮したエネルギー削減を統括的に推進するために「省エネ・マネジメント体制」を強化します。  
(3) 業務改善と設備導入の両輪で計画的にCO<sub>2</sub>排出量の削減に積極的に取り組みます。

■CO<sub>2</sub>総排出量

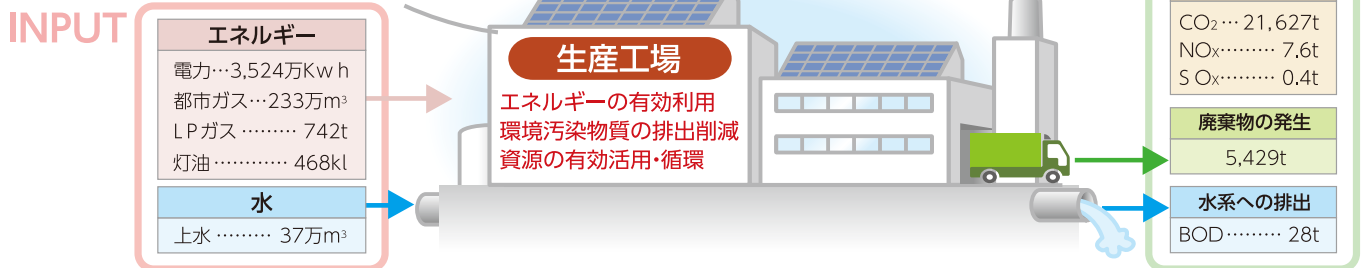


### ● 環境に配慮した生産活動

ノーリツグループでは、生産事業所を中心に、地球温暖化となるCO<sub>2</sub>削減、省エネルギー活動や廃棄物の削減と資源循環の推進、環境汚染の予防・防止に、継続的に取り組んでいます。

また流通においても、輸送の効率化を図り、CO<sub>2</sub>削減に取り組んでいます。

■2012年度エネルギー使用量と環境負荷



### ● 冬の節電・夏の節電について

「冬の節電」(2011年12月～2012年3月)

節電目標は、前年同月の最大使用電力(ピーク電力)の90%以下として取り組みました。

最大使用電力	2011年12月	2012年1月	2012年2月	2012年3月
目標(kW)	10,013	10,432	10,283	9,879
実績(kW)	9,684	10,099	10,235	9,939
(%)	84.8%	87.0%	89.6%	90.5%

「夏の節電」(2012年7月～9月)

節電目標は、2010年同期間の最大使用電力(ピーク電力)の85%以下として取り組みました。

最大使用電力	2012年7月	2012年8月	2012年9月
目標(kW)	11,390	←	←
実績(kW)	10,683	10,870	10,751
(%)	79.7%	81.1%	80.2%

ノーリツグループは、2011年からの節電活動を継続し、設備面では太陽光発電システムの設置、照明のLED化・人感センサーの設置、電力監視システムの導入等を実施し、運用面では、空調の温度設定、照明の休憩時・不在時の消灯、PC・OA機器の省エネ設定、自販機の削減・省エ



ネ設定、クールビズ(スーパークールビズ)、ウォームビズ等を実施しました。2013年も継続して、節電活動に取り組めます。



節電パトロール(明石工場)詳細は、  
<http://www.noritz.co.jp/news.html>

# 2012年の活動概要【エコ・ファーストの約束】



## 3. 法規制を先取りした化学物質管理を強化し、環境汚染リスクを低減します。



(1) 自主的な取り組みとして2006年から導入している有害物質対応商品を2016年までに販売構成比80%以上になるように開発と普及に積極的に取り組みます。

※温水機器、厨房機器、ソーラー機器、暖房機器、コージェネレーション機器が対象。

「ノーリツグループ環境負荷物質管理指針」をもとに、有害物質対応商品<sup>(※1)</sup>の新商品開発に取り組んでいます。有害物質対応商品の品数を増やすことにより、販売構成比の拡大を図っています。

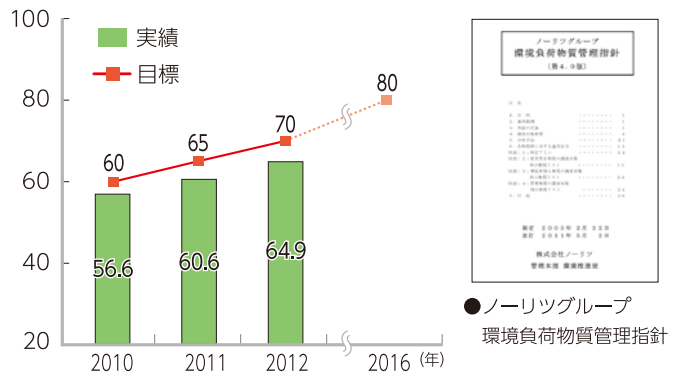
有害物質対応商品の販売構成比を拡大していくにあたっては、仕入先・購買・設計が連携し商品開発を進めています。また、営業・販売先における取り組みも重要になります。これからの、サプライチェーン全体で有害物質対応商品の拡大に取り組んでいきます。

※1 有害物質対応商品:RoHS指令<sup>(※2)</sup>対象6物質にノーリツ独自の13物質を加えた19物質を基準濃度以下にした商品。

※2 RoHS指令:電機・電子機器に含まれる特定の化学物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、特定臭素系難燃剤2種)を使用禁止。温水機器及び厨房機器は対象外であり、ノーリツグループにおいては自主的取り組み。

### ■有害物質対応商品の販売構成比の推移

対応率(単位:%)



●ノーリツグループ環境負荷物質管理指針



(2) 2010年7月以降の新商品(温水機器及び厨房機器)より、REACH規則で定められた化学物質の含有状況を管理し、EU向け商品だけでなく、国内向け商品に対しても情報開示ができるようにします。

(3) 有害物質の低減及び含有情報の精度向上を図るために、化学物質管理システムの構築、化学物質監査等を通じてサプライヤーとのコミュニケーションを積極的に行い、グリーンサプライチェーンの強化に取り組めます。

REACH規則で定められた化学物質の含有状況の管理については、2012年も新たな機種を選定し、サプライチェーンと協力し調査・含有状況の把握を行いました。

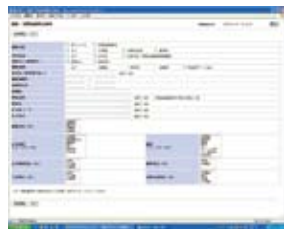
ノーリツグループのサプライチェーンにおける考え方は対等・公正な取引を行い、サプライヤーと共存・共栄に努めることとあります。そのために環境・品質・価格・納期などの項目で相互の信頼関係を築いていきます。

環境の部分においては「ノーリツグループ環境負荷物質管理指針」による有害物質管理や、サプライヤーの環境管理システムの導入・運用支援に取り組んでいます。

※REACH 規則：化学物質の登録、評価及び制限に関する規則

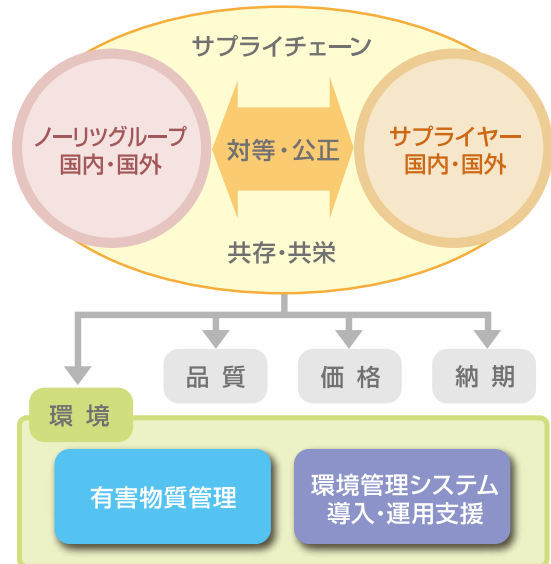


蛍光X線分析装置



GPネットの表示例

### ■サプライチェーンにおける考え方・取り組み





## 4. 製品・事業活動を通じて資源循環型社会の構築に積極的に取り組みます。



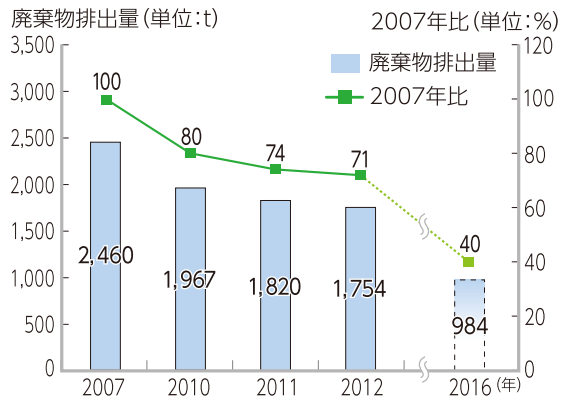
(1) 生産活動に伴い発生する廃棄物について、事業所外に排出する量を2016年までに60%以上削減することを目指します。(国内生産事業所2007年比)

ノーリツグループ生産事業所における2012年の廃棄物排出量(処理費用が発生する廃棄物が対象)は1754 t/年となり、前年度より66 t削減しました。

削減にあたっては排出そのものの削減と共に、適正な処理を行いながら有価として取引できるような取り組みをしています。これにより有効な資源として社会に還元することで資源循環型社会構築を目指しています。

2012年はグループ会社に重点を置き、活動を進めてきました。今後も法令遵守と資源循環を両立させ、資源循環型社会の構築を進めていきます。

### ■廃棄物排出量



### 責任者の声

株式会社アールビー 管理部 部長 川西 正晃さん

2012年度、アールビーでは、廃棄物の削減だけでなく廃棄物処理の適正化に取り組まれました。現状では、廃棄物の分別指導が不十分であることがわかりました。そこで、ノーリツグループにおける廃棄物削減の取り組みなどについて説明し、分別指導を再徹底したところ、関連する部門長から担当者までが自ら実施してくれました。今回の活動で、改めて教育の重要性を認識すると共に、社員の行動力の素晴らしさを実感しました。引き続き、活動の維持継続、廃棄物の適正な資源循環に取り組んでいきます。



(2) ノーリツグループの国内生産事業所のリサイクル99%以上とする取り組みを継続し、海外生産事業所においても2012年までに99%以上とすることを旨とし、その後継続します。

国内生産事業所において継続的に活動を行うことで、2012年もゼロエミッション(\*)達成を継続しています。

海外生産事業所においては、能率(上海)住宅設備有限公司がゼロエミッションを継続すると共に、東莞大新能率電子有限公司も処理業者の選定を完了し2012年よりゼロエミッションを達成しています。

\*ノーリツグループ・ゼロエミッション定義: 廃棄物の全重量のリサイクル率が99%以上となった月を3ヶ月以上継続し、今後も継続可能と判断した状態をゼロエミッションの達成とします。

### ■廃棄物集積場



本社工場



明石工場



加古川事業所



大成工業株式会社 本社工場



能率(上海)住宅設備有限公司



東莞大新能率電子有限公司

# 製品を通じた環境負荷低減

## 製品・サービスの環境配慮

地球規模での環境問題がますます深刻化し続けているなかで、日本では、2011年に発生した東日本大震災・福島第一原子力発電所の事故を受けて化石燃料による電力確保を優先すべき事態にもなっており、温室効果ガス削減目標と現実とのギャップがますます拡大しています、

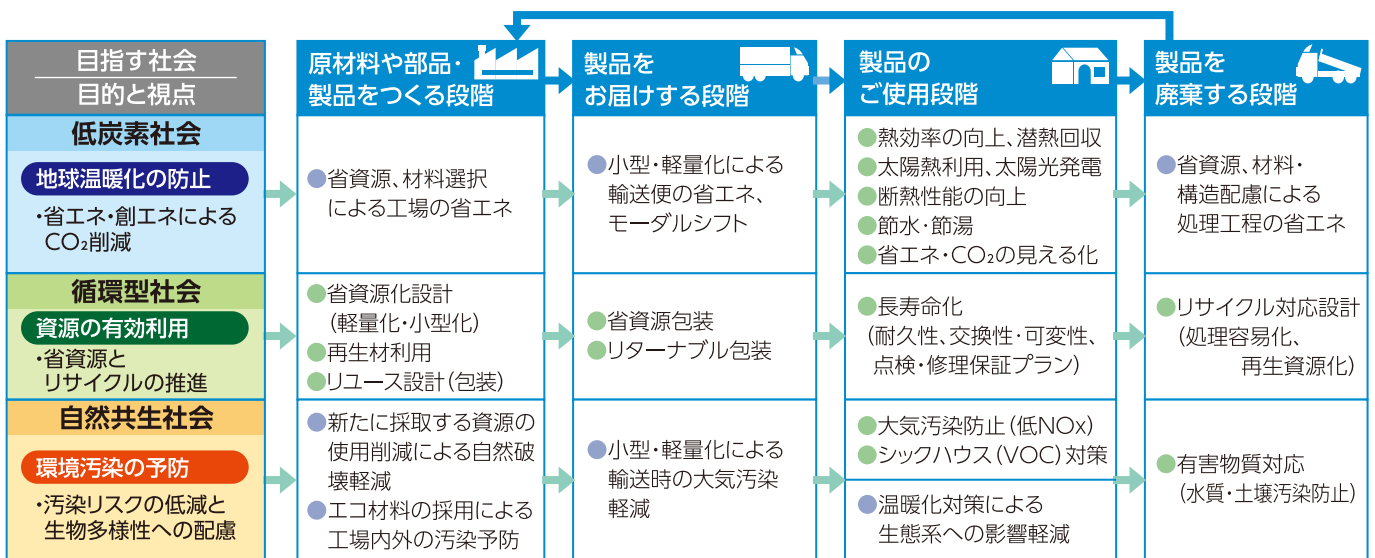
ノーリツグループは、「持続可能な社会」の実現に向け、その三要素である「低炭素社会」、「循環型社会」、「自然共生社会」の構築に、環境技術・ものづくりを通じて貢献しています。そのために、「地球温暖化の防止」「資源の有効利用」「環境汚染の予防」の3つの視点を軸に、製品ライフサイクルの全てのステージで環境負荷を低減した製品づくりを推進します。

### ● 製品ライフサイクルでの環境配慮

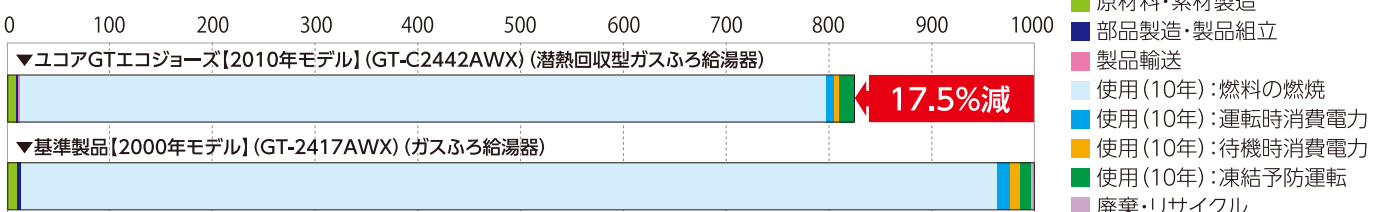
当社では、ライフサイクル全体での環境負荷総量を可能な限り小さくし、機能や経済性など全てに満足して頂ける商品をお届けできるよう、技術開発や商品の企画・設計段階から製品を廃棄する段階まで、製品の一生を考えて全体最適に取り組んでいます。

1つの環境性能の向上がコベネフィット（相乗便益）を生み出せば問題ありませんが、トレードオフの関係になる場合も多く、社会状況で優先度も刻々と変化するため、ライフサイクルにわたる各環境性能の総合的な評価結果に基づき、いかに重み付けを行って判断するかが更に重要になっています。

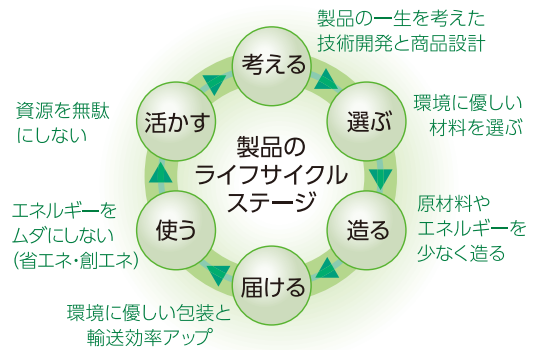
### ■ 各ライフステージの私たちの取り組み



■ 温暖化負荷（CO<sub>2</sub>排出量）削減例：基準製品のCO<sub>2</sub>を1000として指数化  
現在では、2000年モデルと比較して、17.5%の削減になっています。



### ■ ライフサイクル・シンキング

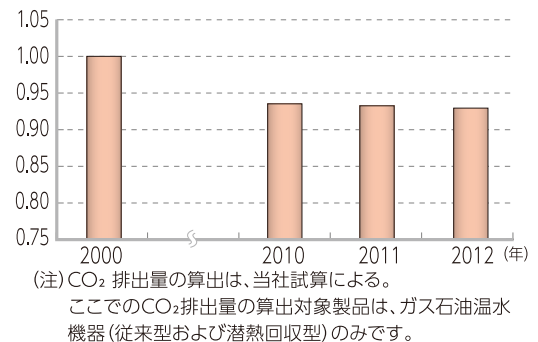


## 製品の省エネルギー・地球温暖化防止

### ● 製品によるCO<sub>2</sub>排出量の削減（温水機器・太陽エネルギー利用機器）

ノーリツグループの設備機器がそのライフサイクルで排出する温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）は、大部分が使用段階から排出されます。当社では、低炭素社会の構築に向け、お客さまの快適性・利便性を損なうことなく、各世帯の住まい方の実情に合わせた温暖化対策と節電・ピーク電力対策に資する多様な設備機器を提供できるよう、高効率温水機器のラインナップの拡充と更なる性能向上に取り組むとともに、再生可能エネルギー利用機器（太陽熱利用システム、太陽光発電システム）等の商品開発に取り組んでいます。

■ 温水機器1台当たりCO<sub>2</sub>排出量（対2000年比）



### ■ 高効率温水機器で省エネ・CO<sub>2</sub>削減（例）

温水機器分野では、2012年度も積極的に潜熱回収型温水機器のラインナップの拡充を行い、拡販に努めてきました。また、従来型温水機器の技術開発（更なる高効率化）と商品展開にも取り組んできたことにより、2012年度の販売製品1台当たりのCO<sub>2</sub>排出量は、2000年度（1.04t-CO<sub>2</sub>/年）に対し、7.1%削減をしています。



ガス潜熱回収型 給湯器／ふろ給湯器／給湯暖房機



● ガスふろ給湯器  
GT-C\*\*42シリーズ

給湯熱効率  
80%⇒95%  
ふろ熱効率  
75%⇒90%

CO<sub>2</sub>削減量  
**187kg**  
(/台/年)

ふろも高効率で”2つのエコ”



● ガスふろ給湯暖房機  
GTH-C\*\*48シリーズ

給湯熱効率  
80%⇒95%  
暖房熱効率(低温、高温)  
80%⇒89%、85%

CO<sub>2</sub>削減量  
**252kg**  
(/台/年)



● 石油ふろ給湯器  
OTQ-C4703AY

給湯熱効率  
83%⇒95%

CO<sub>2</sub>削減量  
**188kg**  
(/台/年)



● 家庭用ガスエンジン  
コージェネレーション  
システム



### ■ 太陽エネルギー利用で創エネ・CO<sub>2</sub>削減（例）



● 太陽熱利用ガス給湯暖房システム  
(熱源一体型ソーラーシステム)  
XFシリーズ

給湯エネルギー消費量\*  
約35～63%削減

CO<sub>2</sub>削減量※  
**570kg**  
(/台/年)

※ 集熱面積4㎡での値(暖房利用含まず)



太陽電池モジュール

● 太陽光発電システム  
PVMDシリーズ(多結晶)



パワーコンディショナ

CO<sub>2</sub>削減量  
**1,278kg**  
(/4kW/年)

# 製品を通じた環境負荷低減

## ● CO<sub>2</sub>・省エネ情報の「見える化」と運転制御による省エネ (温水機器・太陽エネルギー利用機器)

家庭からのCO<sub>2</sub>削減においては、我慢の省エネではなく、持続可能な対策が不可欠です。メーカーとして、機器の省エネ性能向上に最優先で取り組むとともに、お客さまが十分だと感じて頂ける範囲で稼働し必要以上のエネルギー使用を抑えることも大切です。

当社では、お客さまが、無理なく・楽しく・自然に、省エネに配慮した使い方をされ、その削減状況を確認して頂けるよう、各種のナビゲーション機能を搭載したリモコンと対応機種種のラインナップ拡大を図るとともに、お客さまが能動的に設定できる各種の省エネ運転モードの搭載も進め、運用面での省エネ・CO<sub>2</sub>削減行動をサポートします。

### ■ 省エネナビゲーション機能搭載 (例)

当社では、お客さまに情報を提供する際の、分かり易さ・丁寧さ・確認のし易さ・即時性などを考慮し、ナビゲーション機能の改善を進めています。家庭内のエネルギー使用量(ガス/灯油・水・電気)をお客さまに大きな費用負担をお掛けすることなく「見える化」し、お客さまの省エネ意識の醸成と省エネ行動を支援するよう取り組んでいきます。

#### 「エネルギー表示」

日間・月間・年間単位で、エネルギー使用量・使用料金を数値・グラフで表示



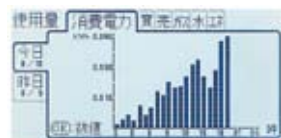
月間表示例



現在状況表示例

#### ■ 表示例

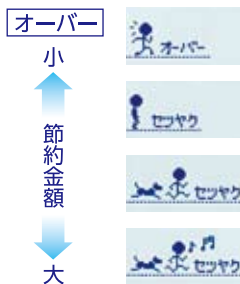
RC-C001シリーズ浴室リモコンの表示部分を例として説明しています。



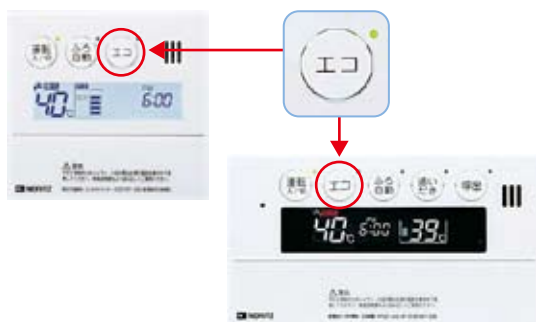
グラフによる消費電力表示例

「エネ速報表示」  
文字でのエネルギー使用量をリアルタイム表示

「アニメーション表示」  
種類のキャラクターで節約状況を表示



### ■ 省エネモード機能搭載 (例)



●RC-E9112Pマルチリモコンで説明しています。

●エコスイッチ・オンで、以下の省エネモードに設定されます。

※機種により、機能の一部がないものがあります。

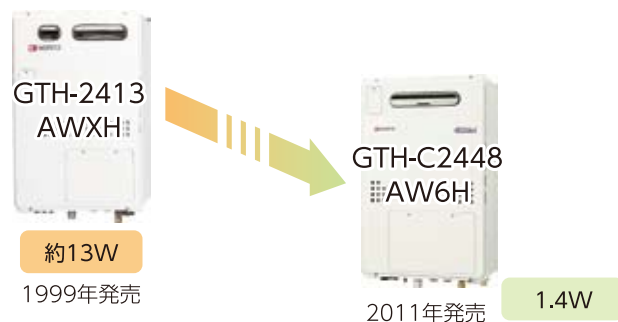
- ①給湯運転……………出湯量を制限(8L/10L/12L/制限無)  
(量はお好みで設定できます)
- ②ふる自動保温運転…ふる設定温度の-1℃で保温
- ③床暖房運転……………床暖房の温水を通常より-5℃で運転
- ④給湯運転……………設定温度の-1℃で出湯
- ⑤ふる自動お湯はり…設定水位より若干少ない湯量で自動ストップ  
全自動タイプ：約-1cm  
自動タイプ：約-10L

## ● 待機時消費電力の削減 (温水機器)

温水機器は、安全監視・制御・通信などの機能上、待機時消費電力が不可欠ですが、当社では早くから待機時消費電力の削減に取り組み、業界自主基準(2008年度目標)達成は勿論のこと、更なる低減に向けて取り組んでいます。

現在では、販売製品1台当たりの年間待機時消費電力量(加重平均)は、2000年度に対し50%削減しています。中には90%近く削減した製品もあります。

### ■ ガスふる給湯暖房機での待機時消費電力削減(例)



(注)待機時消費電力値は、業界JIS自主基準(JGKAS C702)に基づく。

## ● 製品によるCO<sub>2</sub>排出量の削減例 (バスルーム)

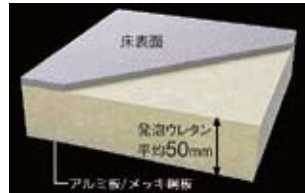
ノーリツグループでは、お客さまの快適性・利便性を追求し、且つ、エネルギー使用の削減に寄与する製品をお届けするよう、「環境と人」をテーマに技術開発と商品設計に取り組んでいます。

Clesse SCAシリーズ  
(5人エコ浴槽)

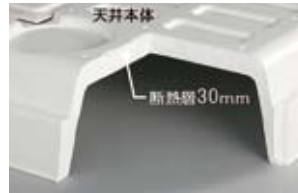
CO<sub>2</sub>削減量  
**307kg**  
(/台/年)  
当社従来品(SAF)比



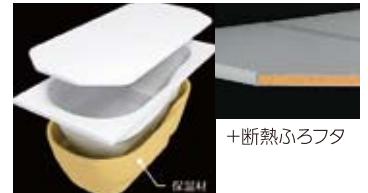
断熱壁



断熱床



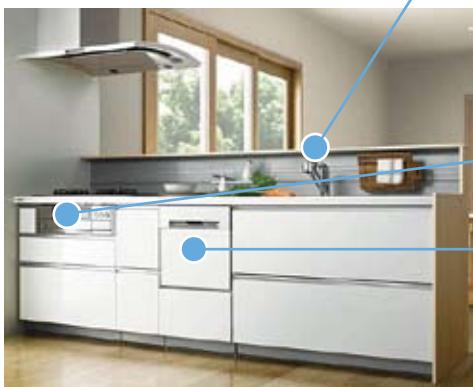
断熱天井



断熱浴槽

## ● 製品によるCO<sub>2</sub>排出量の削減例 (キッチン)

ノーリツグループでは、お客さまの快適性・安全性を追求し、システムキッチンや調理機器(こころ・食洗機・等)、洗面化粧台の機能・デザイン・操作性等の向上に努めるとともに、省エネ・節水に配慮し、エネルギー使用の削減に寄与する製品をお届けするために、技術開発と商品設計に取り組んでいます。



### 節水・節湯水栓の採用

● 「手元止水+小流量」対応の「タッチ式グーネスネック水栓\*」を採用

\*先端のスイッチで吐水・止水が出来る引き出しシャワー・シングルレバー混合栓



※「ワイヤレススイッチユニット(節湯A)+組み合わせ水栓(節湯B)」で節湯AB対応

CO<sub>2</sub>削減量  
**128kg**  
(/台/年)  
一般シングルレバー水栓比

「節湯AB」  
節水率 約26%  
(省エネ法上の設定値)

### 高効率ガス調理機器の搭載

■ 高効率ガスビルトインこころ

S-Blink シリーズ、i-SELECT シリーズ、他



CO<sub>2</sub>削減量  
**23kg**  
(/台/年)  
(2000年頃製品比)

熱効率(こころ部)  
48% ⇒ 55.6%  
省エネ基準達成率(グリル部)  
73% ⇒ 100%

### 節水型食器洗い乾燥機の搭載

■ 節水型スライド式食器洗い乾燥機

FB4515シリーズ  
(食洗機ありプラン:標準仕様)



庫内容量40L  
(約5人用)

CO<sub>2</sub>削減量  
**128kg**  
(/台/年)  
手洗いとの比較

## ● 製品によるCO<sub>2</sub>排出量の削減例 (洗面化粧台)

節水・節湯水栓の採用

Cubo

キューボシリーズ <標準仕様>



● シングルレバーシャワー水栓(微細シャワー吐水)



微細シャワー

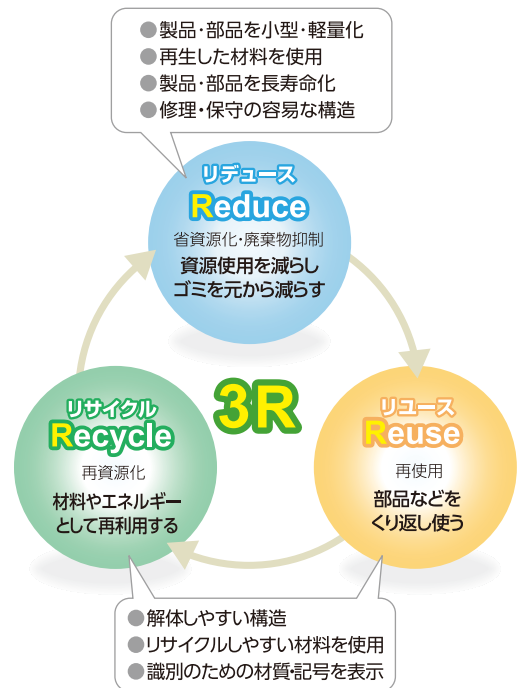
CO<sub>2</sub>削減量  
**41kg**  
(/台/年)  
一般シングルレバー水栓比

節水率 約20%

## 製品・包装における資源の有効利用

持続可能な資源循環を実現し、循環型社会を構築するためには、社会全体での最適化を図るよう取り組まなければなりません。省資源化設計(小型・軽量化)は、低炭素社会や自然共生社会の構築にも間接的に貢献する最もコベネフィット(相乗便益)を生み出しやすい取り組みの一つですが、自社の事業範囲だけでなく上下流のサプライチェーンを見据え、資源利用全体の実像を考慮して取り組む必要があります。一方、再生材(再生資源)の利用等の取り組みは、それ以上の総合的な判断が不可欠であり、ライフサイクル全体での評価に基づいた広範囲な視点で、自社製品が廃棄された後の再資源化と再生資源の利用の推進に取り組む必要があります。

ノーリツグループの製品は、長寿命と高い安全性が要求される住宅設備機器が中心であることから、実効性を検証しつつ、ステップ・バイ・ステップで製品の3R対応設計を推進しています。また、製品の包装材料においても、リターナブル包装等の3R対応を推進しています。



### ● リターナブル包装 (温水機器・調理機器)

#### ■ ガス温水機器

ガス温水機器では、2002年からリターナブル包装を導入しました。これは、包装設計と各種試験により適正形状を追及することで、衝撃吸収性と回収輸送性を両立した薄肉の樹脂成形部材(上下トレイ)を開発することに成功し、従来の段ボールと緩衝材を代替したものです。販売・施工会社様のご協力により、施工現場より上下トレイ(及び一部機種の前部保護材)を回収して再使用(リユース)しています。

現在、一部ハウスメーカー様・ガス会社様向けに使用しており、毎年着実に増加しています。2012年のリターナブル包装製品の出荷台数は、2005年比では約7.9倍まで増加しました。ガスふる給湯暖房機では2012年の出荷台数全体の約20%がリターナブル包装になっています。今後も採用拡大に向け取り組んでいきます。

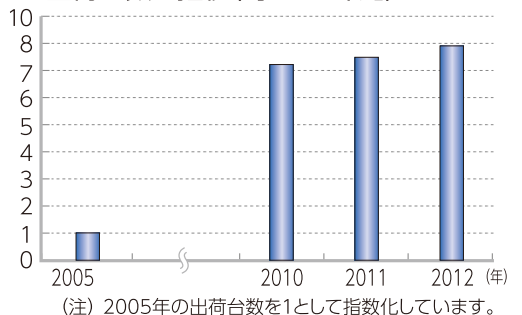
#### ■ ガス調理機器

システムキッチンに組み込むガスビルトインコンロにおいても、2005年からリターナブル包装を導入しています。販売・施工会社様等のご協力により、ケース・緩衝材・パッド類等を再梱包して返送頂き、再使用(リユース)しています。現在、キッチンメーカー様経由で一部ハウスメーカー様向けに使用しており、採用拡大に向け取り組んでいます。

#### ● ガス温水機器リターナブル包装例(シュリンク包装)



#### ● ガス温水機器のリターナブル包装製品の 出荷台数の推移(対2005年比)



#### ● ガス調理器リターナブル包装例





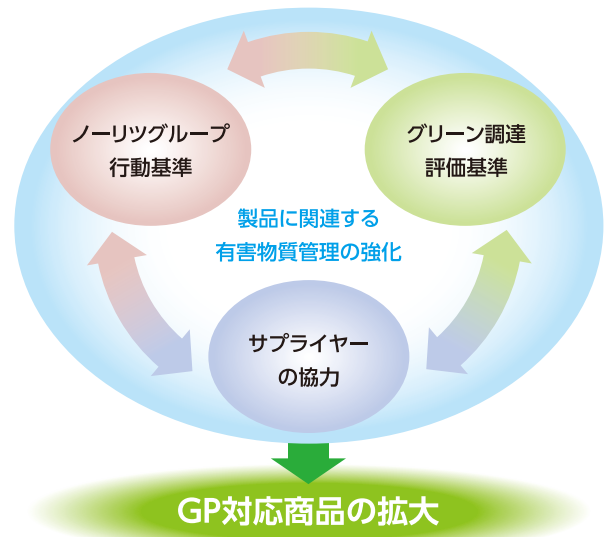
# 製品の環境負荷物質低減とサプライチェーン

## ● 製品における環境負荷物質低減の取り組み

ノーリツグループでは、製品に含有される化学物質の情報を速やかに提供できるよう、「ノーリツグループ環境負荷物質管理指針」に基づき、2006年7月から製品に含有される化学物質の管理をしています。RoHS指令<sup>(※1)</sup>で規制された6物質とそれ以外の13物質に関しては使用を禁止し、また、JAMP<sup>(※2)</sup>が特定している報告対象物質に基づきREACH規則<sup>(※3)</sup>で特定されている物質を調査しています。

製品を作る上で重要なサプライヤーとの関係については、「ノーリツグループ行動基準」に基づき、日常の企業活動を行っています。その基本は「企業情報の漏洩等の防止に努め、また対等で公正な取引を行い、サプライヤーと共存共栄に努める」ことであり、相互の信頼関係によりさらに発展していくことを目指します。サプライヤーの選定においては、国内外を問わず広く門戸を開放した上で、環境・品質・価格・納期を基本とした合理的な基準で選定を行っています。

調達の際は「グリーン調達評価基準」を策定し、「環境保全の進んだ工場で作られた、環境負荷の少ない部品を調達する」ことを基本としています。この基準を満たす「サプライヤーの協力」により、製品に関連する有害物質管理が進み、GP対応商品<sup>(※4)</sup>の拡大につながっています。



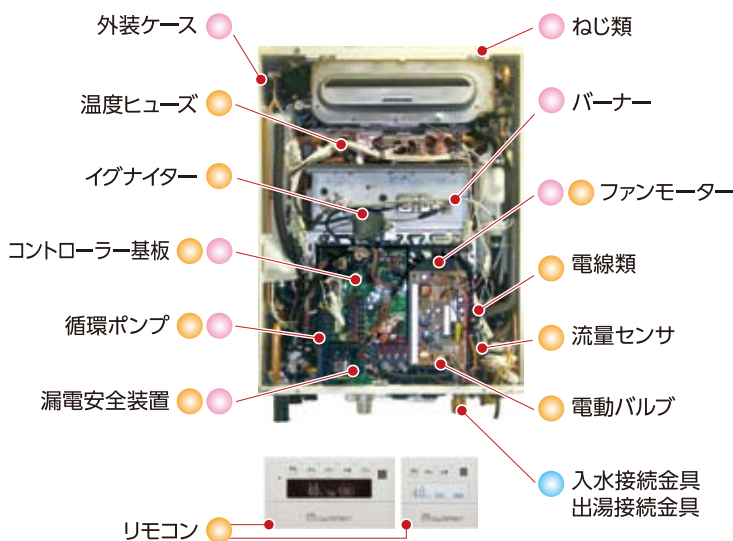
- ※1 RoHS指令: 2006年7月よりEU域内で販売される電気・電子機器への特定6物質の含有を規制。
- ※2 JAMP: アーティクルマネジメント推進協議会の略称。化学物質にかかわる情報伝達の仕組み、業界横断で利用可能な製品含有化学物質等の情報伝達の仕組みの普及に取り組んでいる。
- ※3 REACH規則: EU圏内で化学物質を製造・輸入する場合に、登録、評価を義務付け、高懸念物質は許可、禁止等の制限を設ける規則。
- ※4 GP対応商品: ノーリツの環境負荷物質管理指針で規制している有害物質を低減した商品。

### ■ 禁止物質の不使用を継続的に保証するしくみ

- ① 取引基本契約の締結
- ② サプライヤーでの体制・手順の明文化
- ③ GP ネットによる物質管理
- ④ 環境有害物質監査の実施
- ⑤ 有害物質の分析（データの信憑性確認）

## ● 有害物質低減の具体例

### ■ 物質の低減箇所(ガスふる給湯暖房機の例)



### ■ 物質名および低減方法

#### ● 鉛

鉛フリーはんだ、鉛フリー電線、鉛フリーの材料等を採用することで低減しています。

#### ● カドミウム

黄銅材料は低カドミウム材に変更しています。

#### ● 六価クロム化合物

メッキ鋼板やねじのメッキは、三価クロム系へのメッキ液の置き換えを主体に、六価クロムフリーメッキに置き換えています。

### 2012年度 GP対応商品一例



ノーリツ商品情報

<http://www.noritz.co.jp/product.html>

# 環境管理システムの構築

ノーリツグループにとって環境管理システムは、グローバル展開に必要不可欠なツールです。国内外の生産事業所をはじめとして、事務系事業所やサプライヤーに至るまで、ISO14001を拡大し、パフォーマンスの継続的改善を図っています。

## ■ノーリツグループの認証取得状況(取得事業所・取得日)

ノーリツ個別(国内)		
生産事業所	NAM事業所	1997年 3月
	加古川事業所	1999年 6月
	明石工場	2000年 3月
事務系	西新町事業所	2004年 4月
	営業本部	2008年 9月

グループ会社(国内)		
生産事業所	信和工業(株)	2000年 3月
	第一電子産業(株)	2000年 3月
	(株)アールビー神立工場	2001年 2月
	(株)アールビーつくば事業所	1999年 6月
	(株)ハーマン	1999年11月
	(株)多田スミス	2002年 1月
	関東産業(株)前橋事務所	2004年11月
	大成工業(株)播磨第一工場	2004年 2月
	大成工業(株)播磨第二工場	1999年11月
	大成工業(株)播磨第三工場	2006年12月
	大成工業(株)稲美工場	2004年 2月
	大成工業(株)名古屋工場	2003年11月
	(株)エスコアハーツ	2010年10月
事務系	(株)エヌティーエス <sup>*1</sup>	2008年10月

KEMS(神戸環境マネジメントシステム)		
事務系	ノーリツ本社(栄光ビル)	2004年 4月

ノーリツ(海外)		
生産事業所	能率(中国)投資有限公司	2010年 3月
	能率(上海)住宅設備有限公司	2010年 3月

グループ会社(海外)		
生産事業所	東莞大新能率電子有限公司	2007年 3月

※1 (株)エヌティーエスは、本社、東日本アフターサービス部、中部アフターサービス部、西日本アフターサービス部が認証取得しています。

## ■外部審査

営業本部が8月に、生産事業所は11月に外部審査を受けました。



加古川事業所



株式会社エスコアハーツ



大成工業株式会社

## ■内部環境監査員講習会

4月と7月に実施し、合計46名が参加しました。



営業本部で実施された講習会

### 受講者の声 西東京支店 総務課 安藤 理恵子



テキストが独特の表記や専門用語で難しく、演習も緊張しましたが、取り組む内容は、自分たちの身近な所に有ると分かりました。また、環境に関する情報交換の場としても有意義な講習会でした。ISOを難しく捉える方が多いですが、私たちにとって身近である事を伝えていきたいと思います。

## ■内部環境監査

営業本部は5月～6月に、生産事業所は9月～10月にかけて、内部環境監査を実施しました。



内部環境監査の様子



## ■Toys for Tots (恵まれない子どもたちに玩具と希望を届ける) プログラムに参加

ノーリツアメリカは、「恵まれない子どもたちに玩具と希望を届ける」"Toys for Tots"プログラムに参加しています。社内はもちろん、販売代理、設置業者、お取引先さまにも協力を呼びかけ、約30個の玩具と現金\$220を寄付しました。

プログラムに参加した社員からは、「クリスマスに子どもたちがプレゼントをもらって喜ぶ姿が目に見え、このプログラムに参加できて良かった。」「玩具を寄付することで将来を担う子どもたちの生活を豊かにすることができて嬉しい。」といった感想が寄せられました。



## ■Tankless Is Green

米国・カナダ市場は、従来の貯湯タンク式から、湯切れの心配がなく熱効率の高いタンクレス(瞬間式)給湯器の需要が拡大しています。省資源でエネルギー効率の高いタンクレス給湯器に切り替えることにより、CO<sub>2</sub>の削減と光熱費の節約につながることをお客さまに的確にお伝えし、アメリカ全土へのネットワークを拡大しています。



**ecoTOUGH™**  
Super Efficient. Reliable.

販売エリア：北米

高効率と超低NOxを実現した環境共生の次世代給湯器



## 省エネルギー機器プログラム・基準 —— 世界各国でノーリツの環境技術は高い評価を受けています。

アメリカ	中国	オーストラリア	ブラジル	香港	台湾
<b>ENERGY STAR</b> 省エネ機器プログラム： 全機種適合	<b>中国能效標識</b> 省エネ機器プログラム： 全機種1級/2級取得	<b>STAR RATING</b> 省エネ基準：コンデensing機器 導入により最高ポイント取得	<b>PBE(Energia)</b> 省エネ機器プログラム： 主力機種：Aクラス達成	<b>EMSD(能源標籤)</b> 香港省エネ機器プログラム： 主力機種：取得	<b>節能標章</b> 台湾省エネ機器プログラム： 主力機種：取得

# ノーリツグループの概要

## 会社概要

(2012年12月31日現在)

商号 株式会社ノーリツ (NORITZ CORPORATION)  
 設立 昭和26年3月10日  
 本社所在地 兵庫県神戸市中央区江戸町93番地  
 代表者 代表取締役社長 兼 代表執行役員 國井総一郎  
 資本金 20,167百万  
 従業員数 2,968名(連結 5,703名) ※嘱託・パート含まず  
 ホームページ <http://www.noritz.co.jp>

ノーリツグループは、株式会社ノーリツ及び連結子会社19社で構成されています。事業内容は、温水・空調関連機器、太陽光発電システム、浴室・厨房関連機器の製造・販売事業及びこれに付帯するサービス事業を行っており、お湯を基軸とした豊かな暮らしづくりに貢献する活動を展開しています。

## 連結子会社 (社数:国内11、海外8) (2012年12月31日現在)

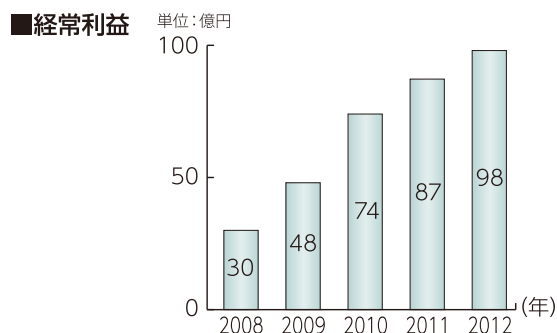
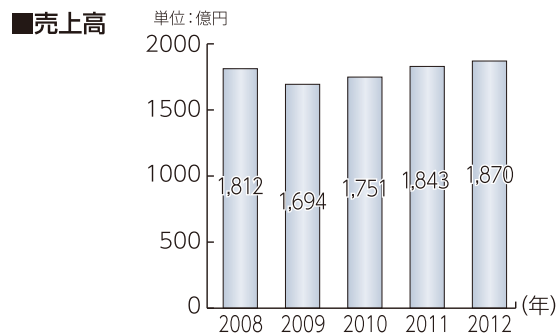
### ■国内

株式会社エヌティーエス	関東産業株式会社
ノーリツ住設株式会社	株式会社アールビー
株式会社エスコアハーツ	株式会社ハーマン
株式会社ノーリツキャピタル	株式会社ユービック
大成工業株式会社	株式会社多田スミス
信和工業株式会社	

### ■海外

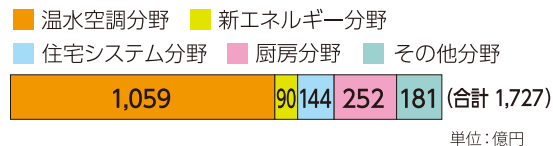
能率(中国)投資有限公司	能率香港集团有限公司
能率(上海)住宅設備有限公司	能率電子科技(香港)有限公司
上海能率有限公司	能率香港有限公司
ノーリツアメリカコーポレーション	東莞大新能率電子有限公司

## 連結売上高・経常利益の推移



### ■2012年セグメント情報

#### 国内事業(分野別)売上高



#### 海外事業(エリア別)売上高



## 環境と社会への取り組みについて

ノーリツは、1997年に環境管理システムの国際規格ISO14001を取得し、2000年以降からは、ノーリツグループ全体に拡大することに努めてまいりました。私たちの取り組みは、2001年から「環境報告書」(\*)として年次発行しています。

2008年からはホームページでの情報開示も充実化をはかり、2009年には、環境省が認証した業界初のエコ・ファースト企業になりました。



※ 2006年から「環境社会報告書」に変更し、現在にいたる。

## 事業領域について

ノーリツグループは、「お湯」をキーワードに、温水機器、温水暖房、太陽光発電システム、システムバス、システムキッチンなどの湯まわり生活設備機器をお届けしています。その全てに息づいているのが、「技術は人のためにあり、人が主役である」という発想です。

## 国内事業

人の暮らしを豊かにしながら環境と共生し、やすらぎのある空間で毎日を気持ちよく

<p>ガス温水機器</p>  <p>ECOジョー</p>	<p>石油温水機器</p>  <p>エコフィール</p>	<p>排熱利用 給湯暖房ユニット</p>  <p>ECO WILL</p>	<p>太陽熱利用 ガス給湯暖房システム</p>  <p>スカイヒ</p>	<p>ダブルソーラーシステム 太陽光発電システム+太陽熱温水器</p> 	<p>壁掛形浴室暖房乾燥機</p>  <p>ドライホット</p> <p>マイケアミスト</p>  <p>mycare mist</p>	
<p>システムバス</p>  <p>Clesse —クリーン&amp;エコ—</p>	<p>システムキッチン</p>  <p>ESTUDIO BIREI</p>	<p>洗面化粧台</p>  <p>SOPHINIA CRIE</p>	<p>ビルトインこんろ</p>  <p>S-Blink ADVANCE</p>	<p>家庭用軟水器</p> 	<p>液晶防水テレビ</p> 	<p>ガスファンヒーター</p> 

## 海外事業

世界中で「新しい幸せを、わかすこと。」— The Simple Comforts of Life



ガス給湯器



ガス給湯器(業務用)



ガスコンロ

## サービス事業

いつでも、気持ちよく製品を使っていたく

24時間  
365日受付

365日  
修理訪問

即日対応

お問い合わせ



■コンタクトセンター



■訪問・修理



平日・土曜日の午前中に受付けた場合は当日訪問いたします。  
※一部地域及び季節によっては翌日対応になる場合もあります。

エコ＊  
リラ＊  
キレイ

Ecology\_Relax\_Clean&Beauty.

## 株式会社ノリツ

本 社

〒650-0033 神戸市中央区江戸町93(栄光ビル)

管理本部 環境推進室

〒674-0093 明石市二見町南二見5

TEL(078)941-3205 FAX(078)941-4542



ホームページ[CSRへのとりくみ]もご覧下さい。

URL <http://www.noritz.co.jp/csr/>



環境省認定  
エコ・ファースト企業です



未来が変わる。  
日本が変わる。



この印刷物に使用している用紙は  
森を元気にするための増設と  
筒枝材の有効活用に役立ちます。

